

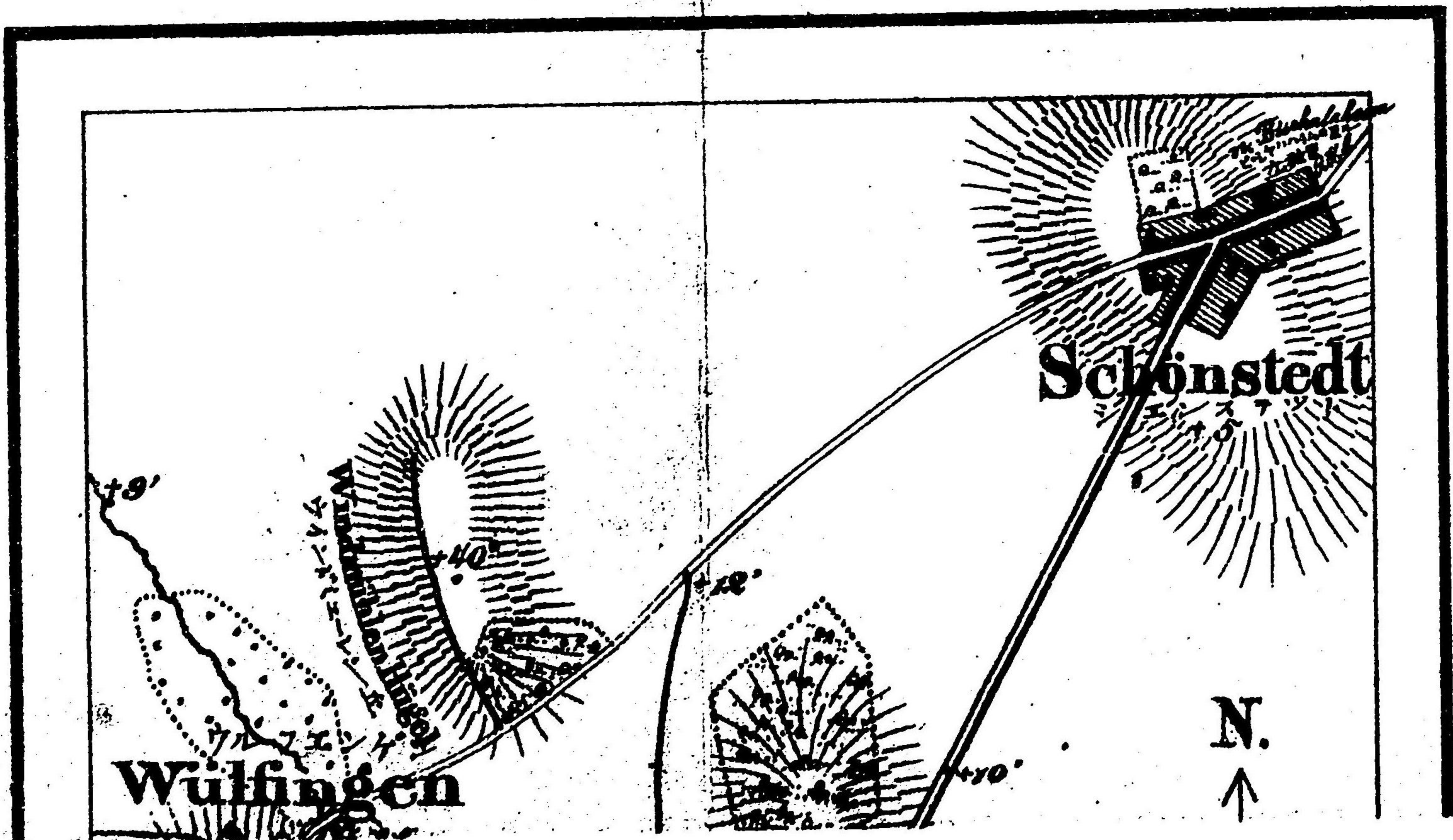
戰  
畧  
術  
問  
答

第  
一  
卷



阿  
登  
録

戰略術問答  
第一卷 第一掌圖

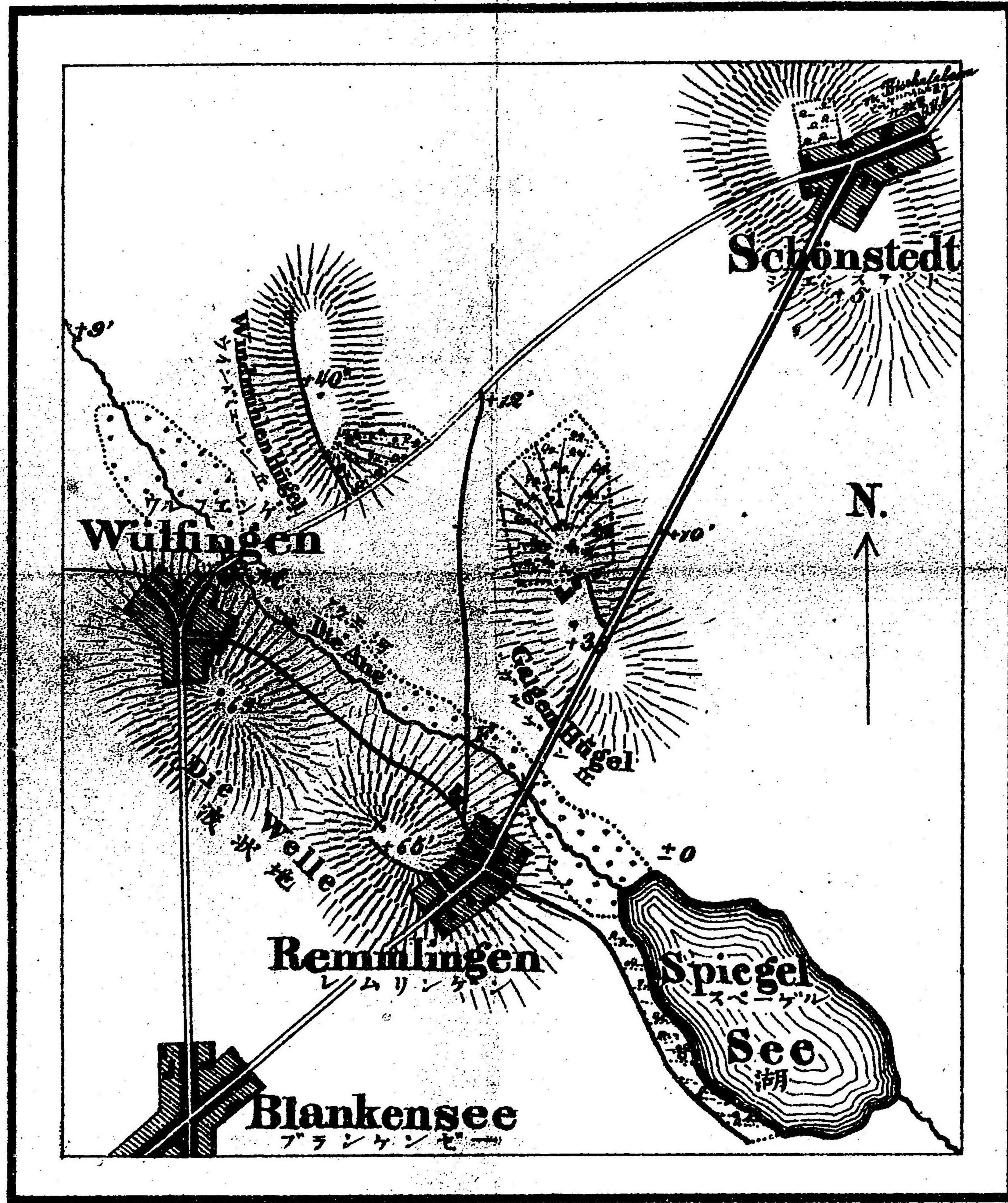


地形ノ説明

アウエ河ノ幅ハ十歩深サ四乃至  
リ森林ハ樹木繁茂ヒスシテ古キ  
耕野ニシテシエンスアツトニ通  
ルヨリシエンスアツトニ通スル

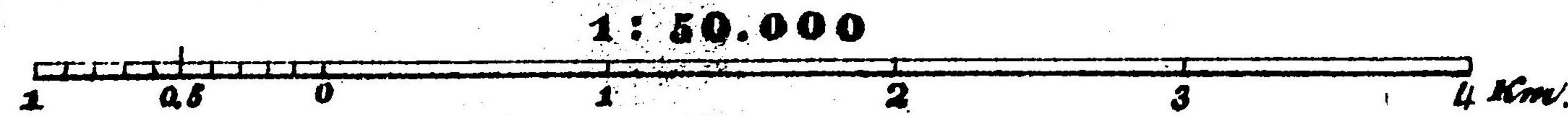


戰略術問答  
第一卷 第一掌圖



地形ノ説明

「アウエ河ノ幅ハ十歩深サ四乃至五歩ニシテ河底ハ堅ク兩岸ハ平坦ナリ森林ハ樹木繁茂ヒスシテ古キ橋樑ヨリ成立ス地ハ一般ニ堅固ナル耕野ニシテエンスアツトニ通スル水街道ノ東方及ヒ「ザルフインゲ」ヨリ「エンスアツト」ニ通スル道路ノ西方ハ全ク開闢ス

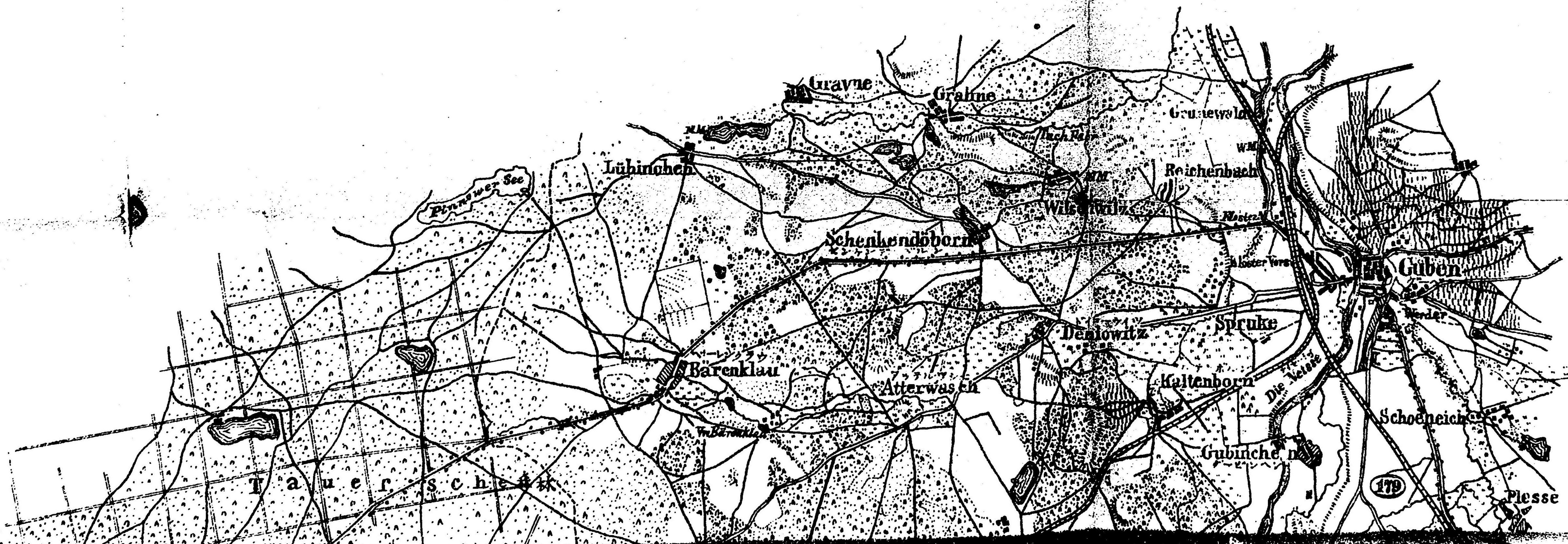




# GUBEN

グーベン

戰略術問答  
第一卷附圖

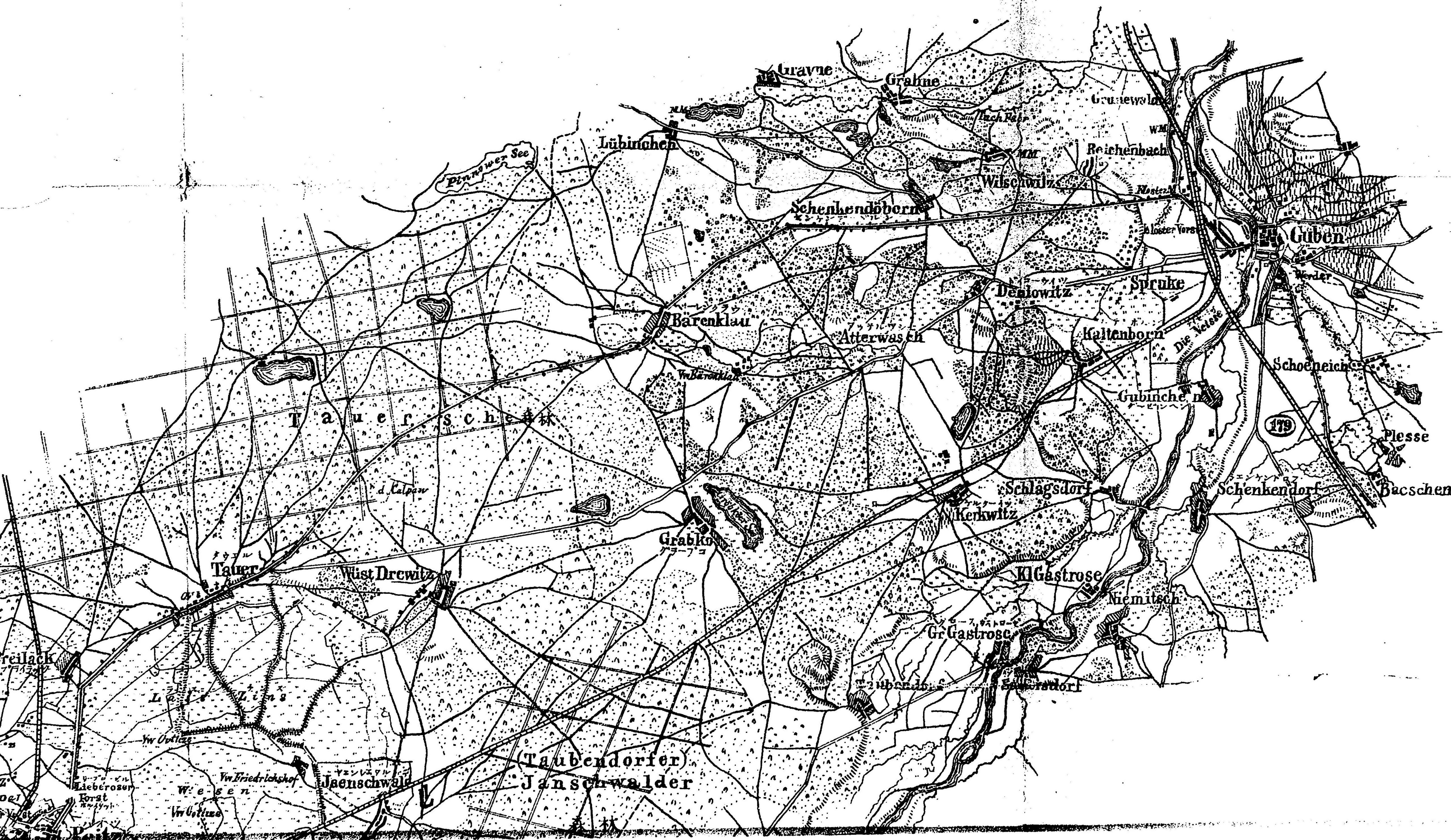




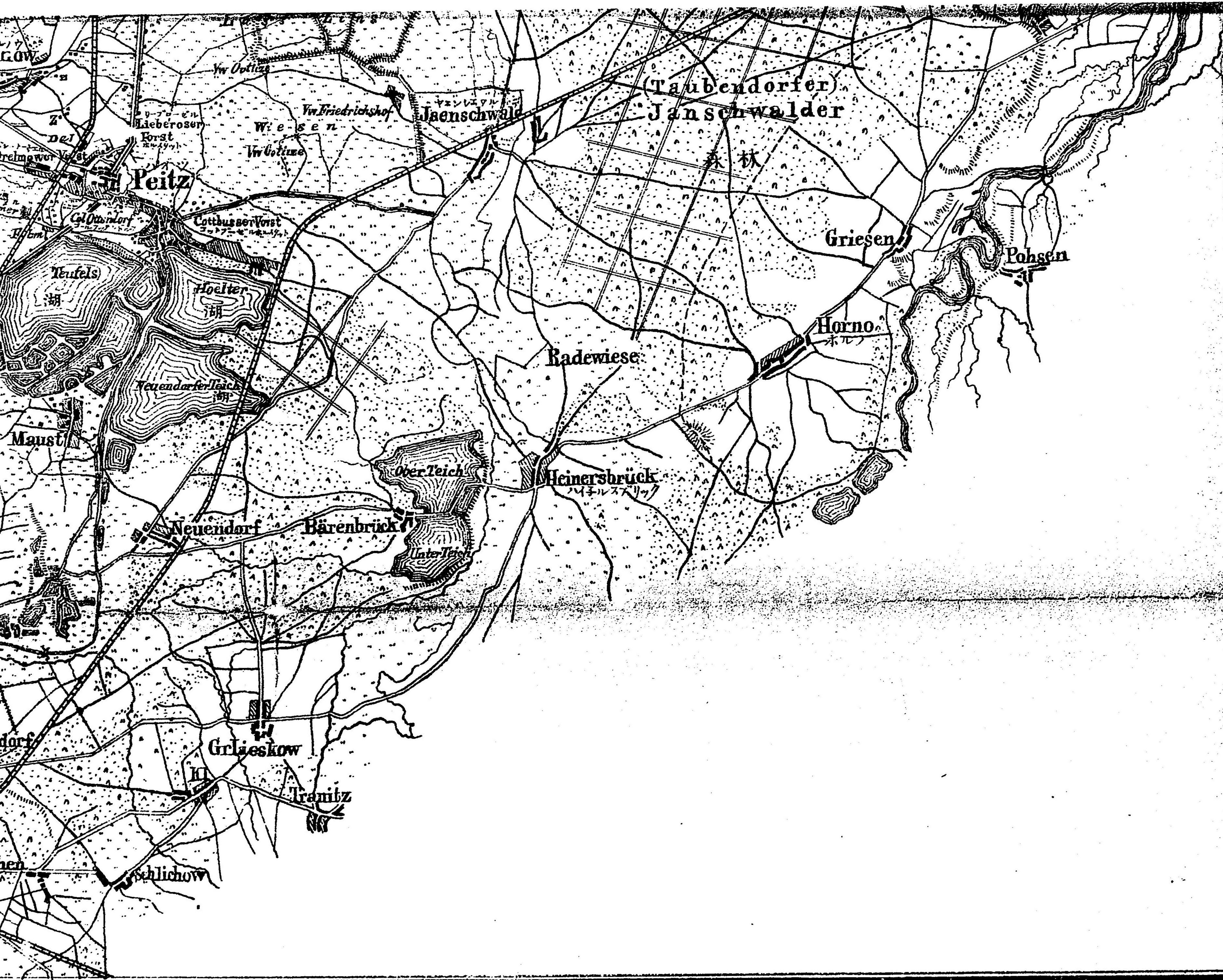
# G U B E N

グーベン

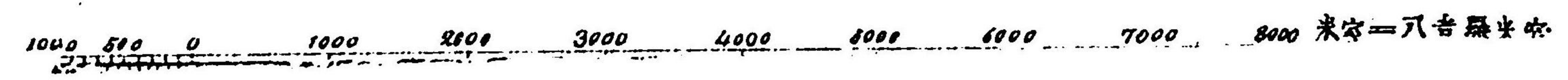
戰略術問答  
第一卷附圖





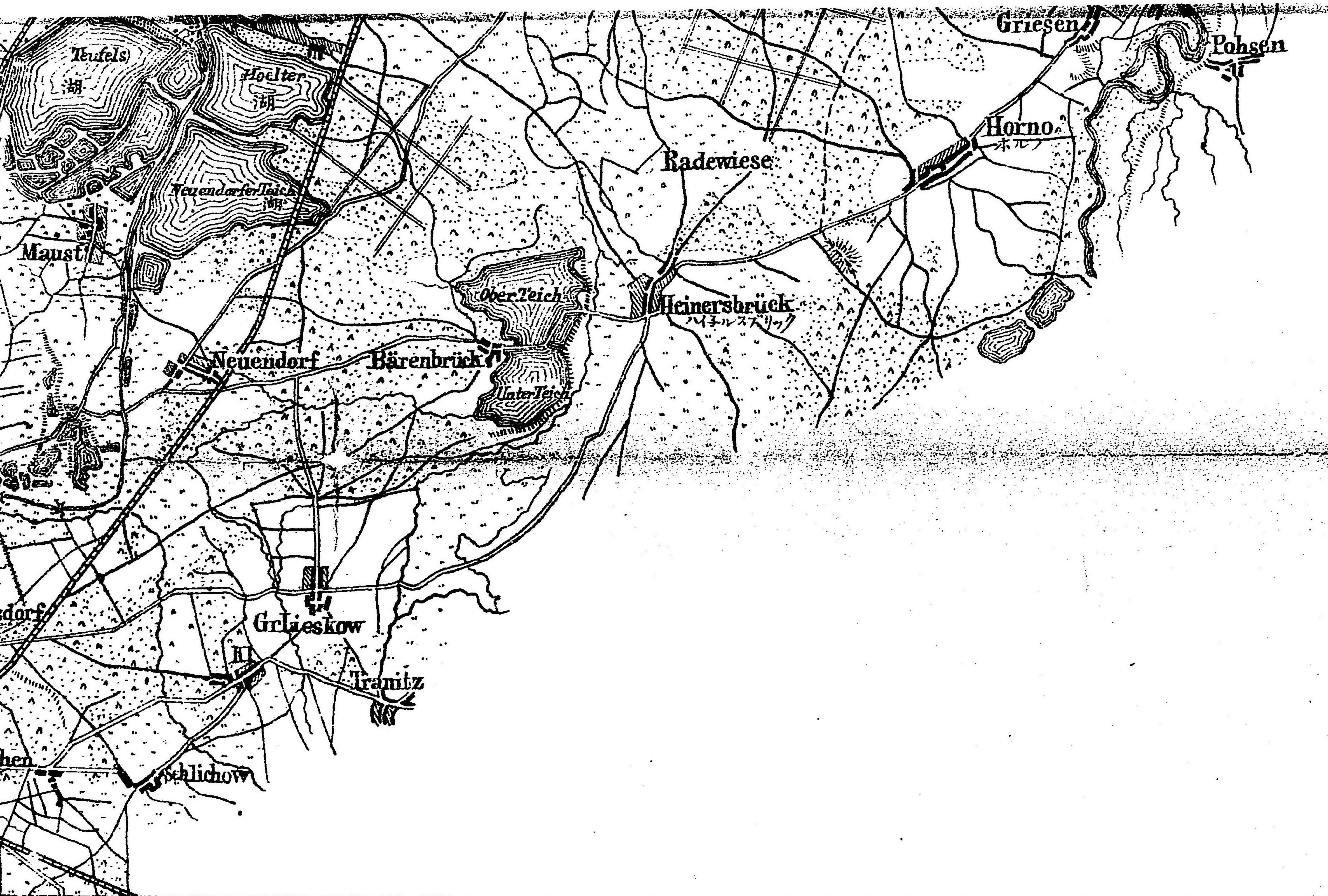


標尺  $\frac{1}{100000}$

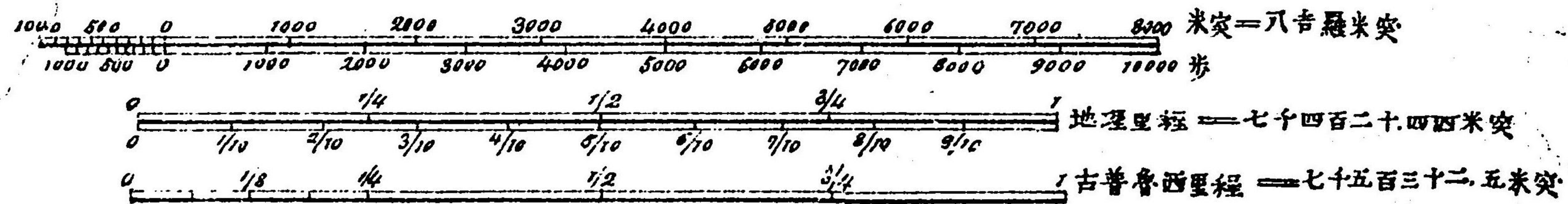


録





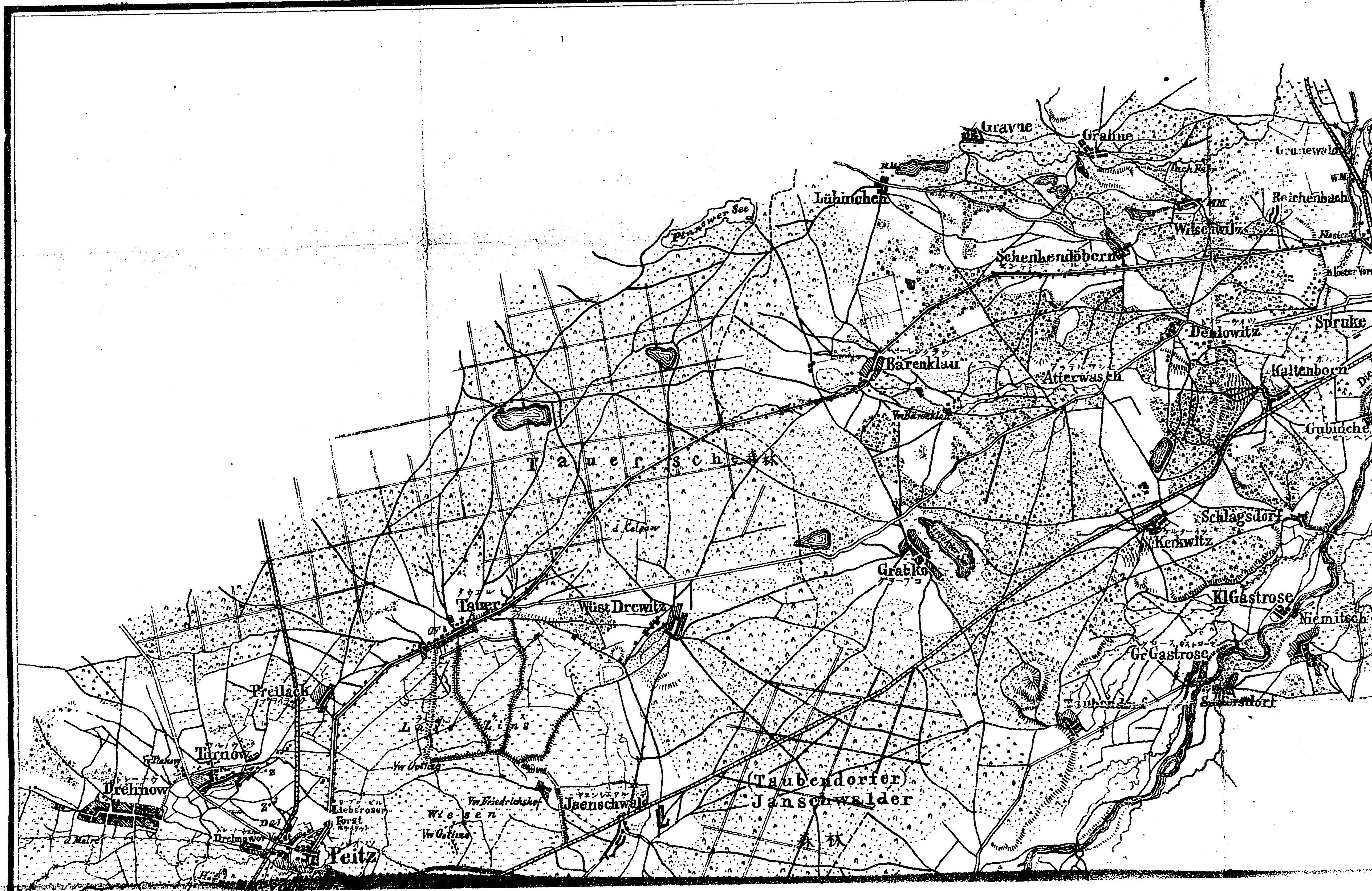
梯尺  $\frac{1}{100000}$



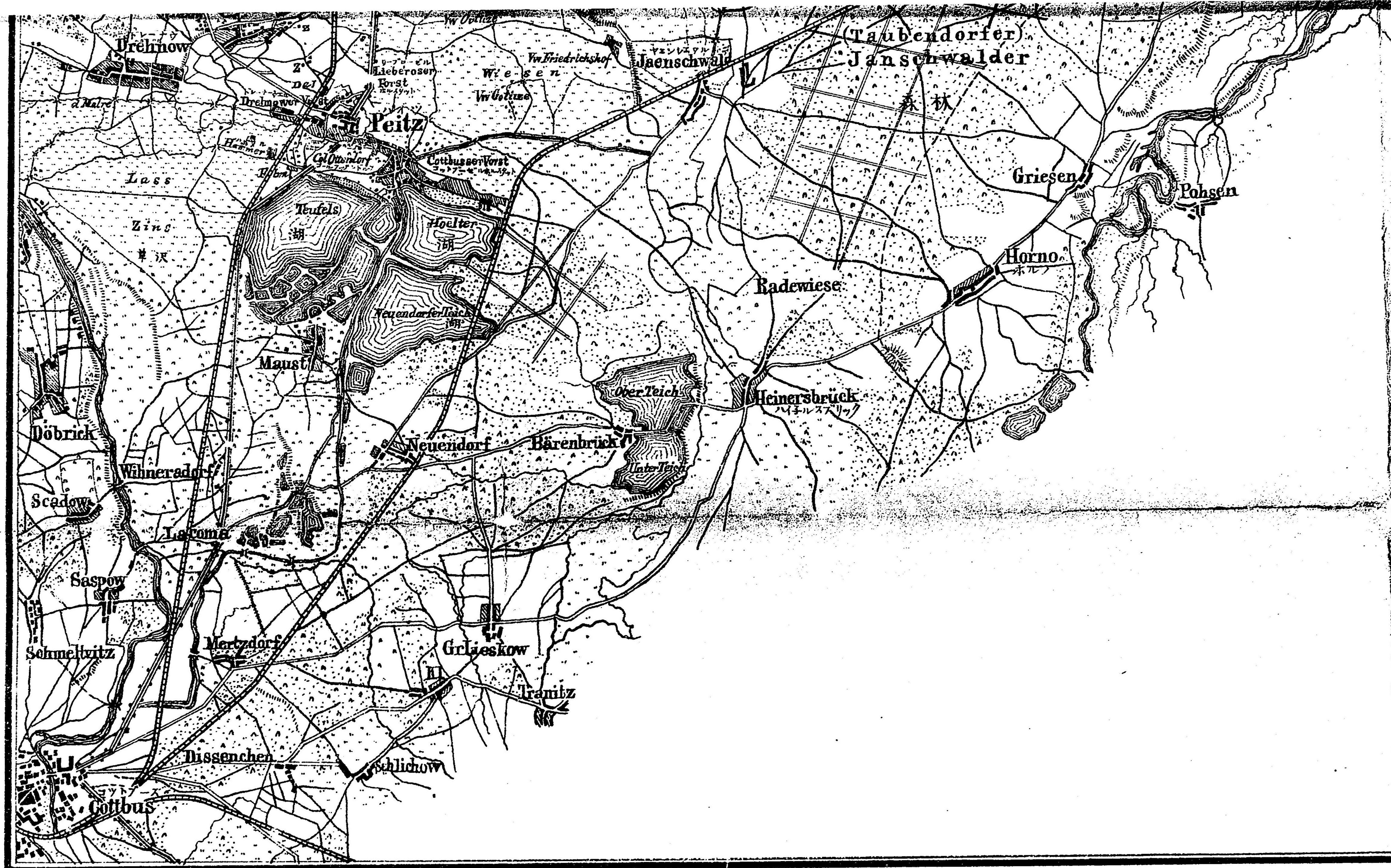


# GUBEN

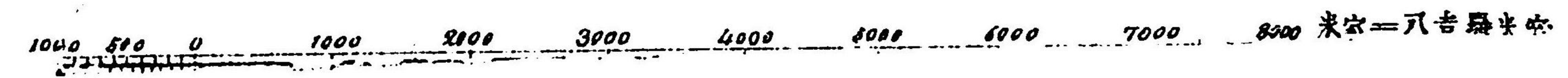
グ - ベ - ン



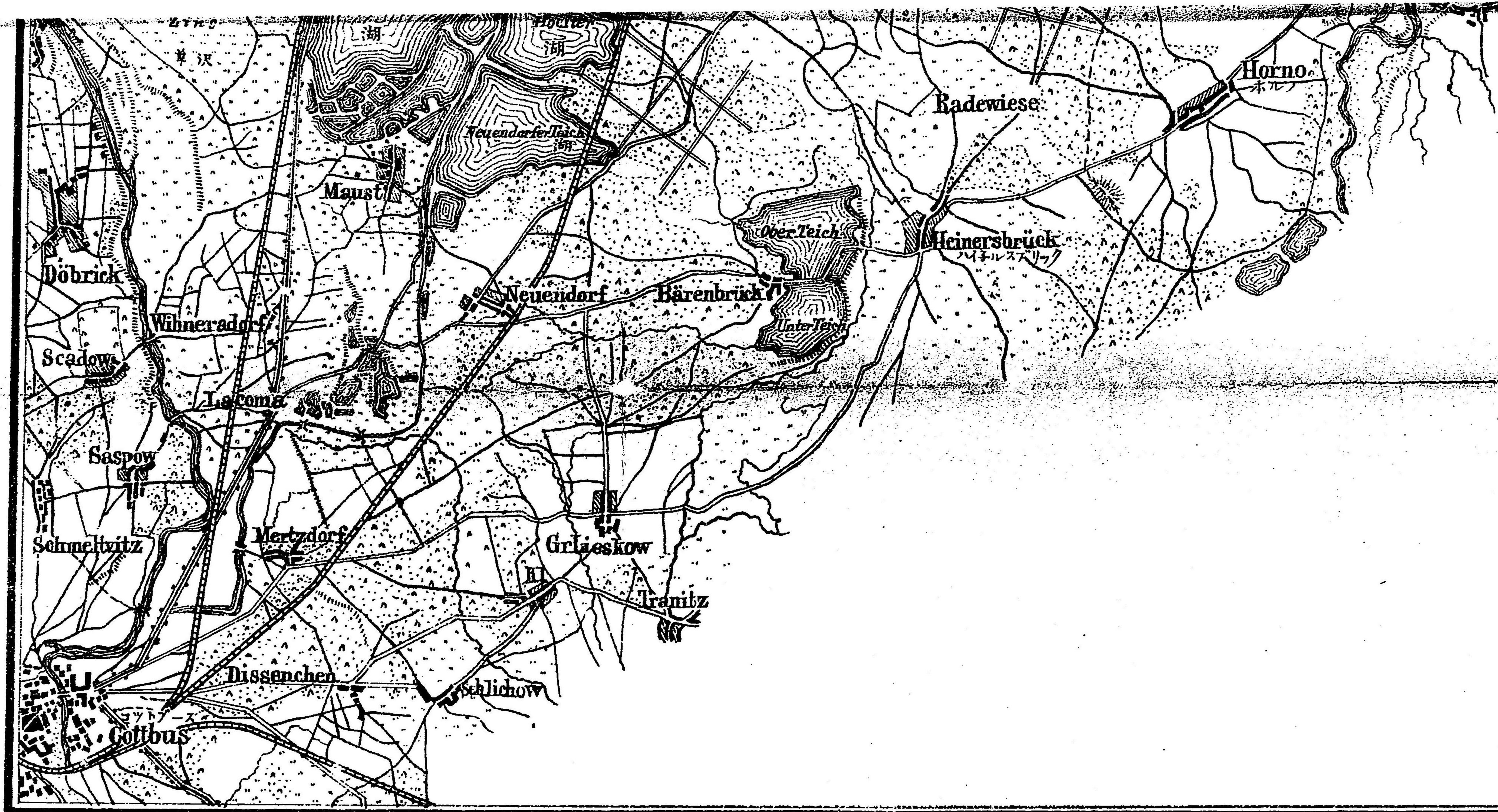




梯尺  $\frac{1}{100000}$





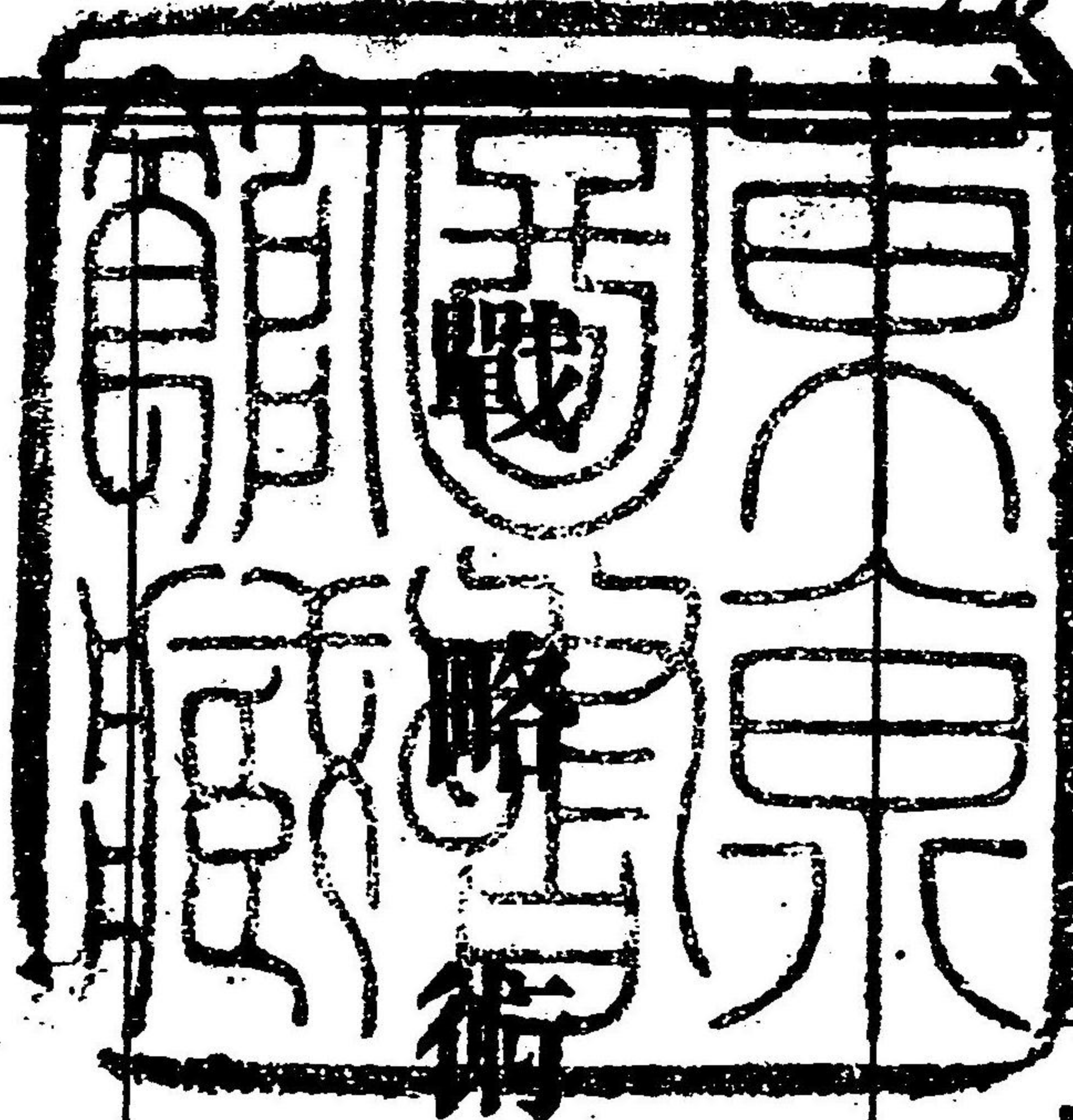


梯尺  $\frac{1}{100000}$



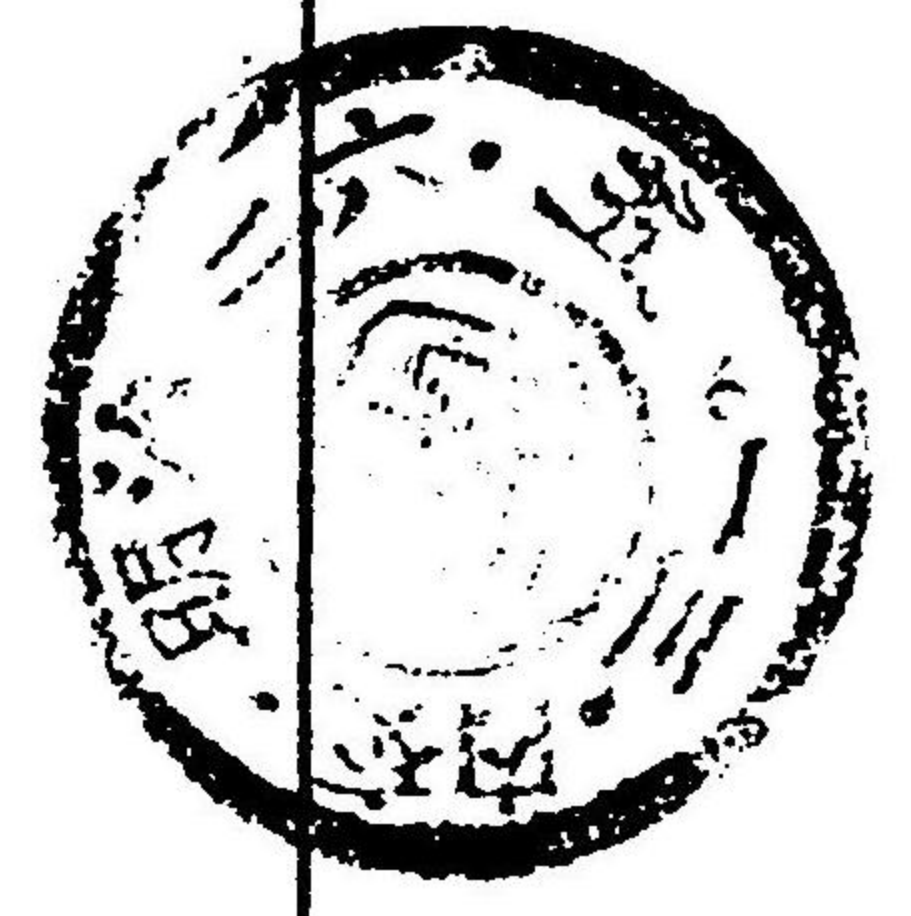


78.848/1



陸軍士官學校用本

問答 第壹卷



明治二十六年五月



本書ハ獨逸國砲兵大佐ハアホンギチッキー氏  
ノ著作ニ係リ專ラ敵情地形及任務ノ三者  
ニヨリ戰畧及戰術ノ應用ヲ研究スルヲ主  
旨ト爲ス而メ其說ク所剴切善ク實際ニ適  
シ善ク肯綮ニ中リ苟モ形式ノ末ニ拘泥ス  
ルトナシ然レモ其ノ準據スル所ハ一ニ典  
令ニ在リ若シ人之ヲ察セス汎然讀過スル  
キハ或ハ恐ル之カ爲メ自放自恣ニ陥リ終  
ニ吾人ノ遵奉スヘキ典令ヲ是レ顧ミサル



ニ至ラントテ此書ヲ繙讀スル者須ラク此  
ニ留意セサル可ラサル也今譯シテ之ヲ本  
校將校ニ頒チ以テ講學ノ資ニ供セントス  
庶幾クハ讀者幸ニ畫虎類猫ノ譏ヲ受クル  
ト勿レ

明治廿六年四月廿日

戸山學校長原口兼濟

戰畧術問答第一卷

獨逸陸軍砲兵大佐ハア、ホン、ギチツキ、著

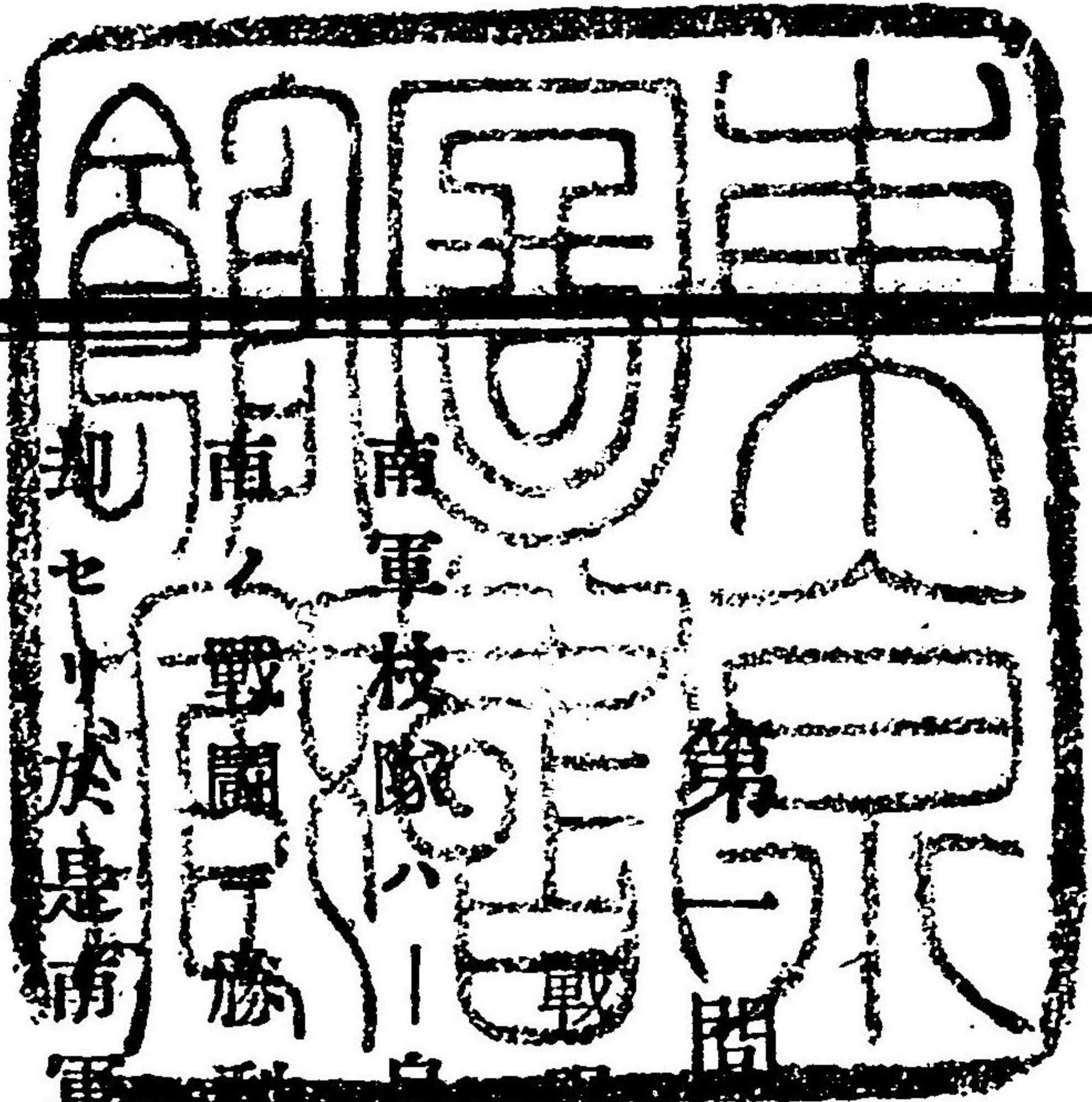
日本陸軍戸山學校譯

第一問題

戰況(第一掌圖參觀)

南軍枝隊ハ一自國ニ於テ九月一日、ブランケンゼー西  
南ノ戰鬪ニ勝利ヲ得敵兵ハ敗レテ、シエンステットニ退  
却セリ、於是南軍枝隊ノ本隊ハ午後第三時、ブランケンゼ

ーニ於テ村落露營ヲナシ、N少佐ハ步兵第七十九聯隊第  
一大隊及ヒ輕騎兵第十六聯隊ノ半中隊ヲ率ヒテ、アウエ  
河地方ニ前哨ヲ配置スルノ命令ヲ受ク





天候

此日秋天晴朗ニシテ大氣乾燥ス

問題

N少佐ノ前哨命令前哨配置

説明及答解

吾人ハ此問題ヲ答解スルニ先チ戰況ヲ明瞭ナラシムル  
カ爲メ聊カ陳フル所アラントス  
戰況中南軍枝隊ハ自國ニ敵軍ハ他國ニ在ルトヲ示セリ  
蓋シ戰略若クハ戰術上ノ問題ヲ授クルニ當リ能ク如此  
ノ注意ヲ爲ス者稀ナリ然レモ其之ヲ示スハ甚タ必要ナ  
リ蓋シ問題若シ某國境ニ在テ動作スル作戰ニ關スルハ

ハ彼我ノ間自ラ自他ノ別ヲ生シ一軍ハ自國ニ一軍ハ他  
國ニ在ルモノトナル可シ上ニ示シタル戰況ニ於テモ如  
此注意ヲ爲スハ甚タ必要ナルカ如シ是レ前哨配布ノ方  
法ニ關シテ大ニ顧慮セサル可ラサルモノアレハナリ即  
作戰ハ自國ニ在ルト他國ニ在ルトニ從ツテ全ク其形勢  
ヲ變化スルヲ常ナリ軍隊若シ自國ニ在ル時ハ敵ニ關ス  
ル報告ヲ得ル一層便利ナル方法ヲ得ヘシ何トナレハ國  
民之ヲ援助スレバナリ他國ニ在ルハ否ラス却テ大ニ  
之ヲ妨害スルヲ以テ其騎兵ヲ使役スルニ非サレハ殆ソ  
ト敵狀ヲ搜索スルヲ難カル可シ且ツ警戒及ヒ其他ノ方  
法特ニ軍隊ノ背後ニ於ケル安寧ハ自國ト他國トニ從ツ



テ霄壤ノ差アリ是即チ如此キ注意ヲ爲スハ問題ヲ與フ  
 ルニ當テ缺クヘカラサル者トナス所以ナリ  
 南軍枝隊ノ司令官ハ前哨勤務ノ爲メ茲ニ步兵一大隊及  
 ヒ騎兵半中隊ヲ當テタリ是レ前哨ニ於テ必要トスル外  
 ハ決シテ過分ノ軍隊ヲ派遣スヘカラサルトハ原則トシ  
 テ宜シク恪守スヘキ者ニシテ前哨勤務ニ服スル者ハ村  
 落露營ニ在ル時ト雖モ兵卒ヲ疲勞セシムルト本軍或ハ  
 前衛(後衛)本隊ニ在ルヨリモ一層甚シケレハナリ故ニ若  
 シ軍隊ノ建制ヲ維持セント欲シテ任務上要スルヨリモ  
 過多ノ軍隊ヲ前哨ニ使用スルカ如キアラハ是レ徒ニ兵  
 カヲ蕩盡スル者ナリ抑前哨ノ兵力ハ占領スヘキ地ノ廣

狹防禦ノ難易及敵ノ攻撃ニ對スル危險ノ大小ニ從ツテ  
 増減セサル可ラサルモノニシテ此ノ危險ノ大小ハ管ニ  
 敵ノ遠近ニ從ツテ生スルノミナラス尙ホ且ツ敵ノ兵力  
 及ヒ志氣ノ如何ニ從ツテ大ニ異同アルモノナリ假令ヘ  
 ハ南北兩軍其位地ヲ換エテ南軍枝隊「シエンステット」ノ  
 東北ニ於ケル戰鬥ニ敗レ「アウエ」川ノ背后ニ退去シ敵軍  
 ハ勝ニ乘シテ之ヲ追撃シ「シエンステット」ニ至ルモノト  
 セハ彼我ノ枝隊ハ依然相對向スルモ戰況ハ全ク一變シ  
 南軍ハ上ニ述ヘタルヨリモ一層嚴重ナル警戒法ヲ要ス  
 可シ然レモ危險ノ大小ヲ判斷スルハ一ツニ各人ノ意思  
 ニ存ス某ハ大ニ危險ヲ感スト雖モ某ハ否ラストスルカ



六  
如シ故ニ以上ノ場合ニ於テモ歩兵一大隊ヲ以テ前哨ニ任スルハ兵力過少ナリトスルモノアリ又二大隊ヲ用ユルハ過多ナリト云フモノアルベシ南軍司令官タル者ハ須ラク敵情特ニ其行爲力ヲ顧ミ如何ニ處スヘキカヲ判定セサル可ラス例令ヘハ南軍指揮官敵ト戦ヲ大ニ之ヲ破リ彼レ既ニ戦フヲ能ハス九月一日ニハ何事ヲモ企ルヲナキヲ信セハ「レムリンゲン」及ヒ「ウルフィンゲン」ノ近傍ニ在ル「アウエ」河ノ渡過點ヲ占領スルニ各歩兵一中隊龍騎兵一小隊ヲ以テ充分ナリトシ即チ歩兵ハ只二中隊ノミヲ以テ前哨勤務ニ服セシムルヲモ爲シ得可シ然ルキハ南軍枝隊司令官之レカ爲メ各獨立シタル前哨枝

隊ヲ「レムリンゲン」及ヒ「ウルフィンゲン」ニ配備シ即チ二個ノ前哨枝隊ヲ編成スルヲ以テ適當トスルナラン蓋シ此場合ニ於テハ專ラ二個ノ道路ヲ閉塞スルヲ以テ目的トスヘキカ故ニ如此配備ヲ以テ決シテ過失ト謂フ可ラス然レモ亦タ「アウエ」川ハ全ク障碍トナラサルカ故ニ啻ニ両街道ヲ閉鎖スルノミナラス尙ホ且ツ河流ヲ監視スルヲ以テ必要ナリトシ且ツ兩前哨司令官アル片ハ枝隊司令官トノ交通ヲ困難ナラシムルヲ以テ之ヲ避クルノ緊要ナルヲ知ラハ即チ二個ノ前哨枝隊配備ハ適當ナリト爲ス可ラス

以上説述スル所ノ疑問ハ即チ戦時ニ在テハ一ノ目的ヲ



達スル爲メニ種々ノ手段アルヲ詳説シタリ要スルニ  
 戰時ニ在テ適當ナル方法ハ唯一ニシテ他ハ皆誤謬ナリ  
 ト云フカ如キハ甚タ稀ナリ故ニ戰時ニ在テハ唯其概略  
 ヲ以テ處置スヘキノミ

吾人ハ戰況ニ次キ天候ニ關シテ注意スル所アラント欲  
 ス蓋シ如此問題ニ於テ此ノ注意ヲ爲スハ缺クヘカラサ  
 ルモノナリ例令ヘハ夏期ニ於テ強雨連續スル時ハ多ク  
 ハ軍隊ヲ掩蔽下ニ宿泊セシムルヲ得然レモ晴朗ナル  
 天候ニシテ敵ニ近接シ且ツ之カ爲メ危険ノ大ナルニ於  
 テハ如此スル能ハサルカ如シ而シテ冬期ニ於テハ我カ國  
 ノ天候軍事上ニ於ケル地形ノ用法ヲ變化スルヲ甚大ナ

リ即チ嚴寒ニハ濕潤セル牧場及ヒ流河皆ナ氷結シテ渡  
 渉シ得ルカ故ニ是等ハ之ヲ正面及ヒ側面掩蔽ノ用ニ供  
 スル能ハサルモノトナル可シ又道路氷結スル片ハ非常  
 ニ軍隊ノ運動ヲ困難ナラシムルヲ以テ後方部隊ハ適時  
 ニ之ヲ招致スルヲ能ハサルヲアル可シ又降霧ハ常ニ有  
 利ナル陣地ノ價值ヲ奪ヒ去ルヘシ何トナレハ敵ヲシテ  
 掩蔽シテ我ニ最近距離ニ迫ルヲ得セシムレハナリ、  
 吾人ハ更ニ意ヲ上ニ示シタル問題ニ傾ケントス  
 今N少佐ハ午後第三時ニ前哨配布ノ命令ヲ下ス當リ部  
 下ノ大隊ヲ卒ヒレムリンゲン及ヒウルフィンゲンノ地  
 方ニ於テ駐止スルモノト假定ス此時龍騎兵聯隊第一中



隊ノ一半ハ其近傍ニ存在シ他ノ騎兵部隊ハ敵ト接觸ヲ保持スルモノトス蓋シ戰鬪後ニ於ケル前哨ハ勉メテ新銳ナル軍隊ヲ以テ之ニ任シ特ニ騎兵部隊ノ如キハ敵ト接觸セサルモノヲ以テ之ヲ編成スルヲ良トス即チ此ノ騎兵半中隊ハ敵ト觸接スル他ノ部隊ノ保護ヲ受ケ前哨勤務ニ服スルニ先チ其馬匹ニ飲ヒ又要スル時ハ之ニ秣フノ時機ヲ得可シ、N少佐ハ「レムリンゲン」及ヒ「ウエルフインゲン」間ニ在ル兩丘阜ヨリ地形ヲ觀察シタル后部下ノ中隊長及ヒ騎兵將校ヲ召集シテ次ノ前哨命令ヲ口演セリ

敵ハ「シエンステット」迄退却セリ、「シエンステット」

一獨里ハ  
二里ニ當  
ルニ我

ハ貴官等ノ前方大約半獨里ニ在ル所ノ村落ナリ  
我カ枝隊ノ本隊ハ「プランゲンゼー」ニ於テ村落露營ヲ布設ス、「プランケンゼー」ハ我カ背後ニ在ル村落ナリ、

余ハ部下大隊及ヒ龍騎兵聯隊第一中隊ノ一半ヲ以テ「アウエ」河ニ前哨ヲ配置セントス、此ノ河ハ我等ノ前方ニ在リ、

A大尉ヨリ貴官ハ貴官ノ(第一)中隊ヲ率ヒテ「レムリンゲン」ノ北方ニ即チ彼處ニ在ル村落トニ於テ村落露營ヲ爲シ「レムリンゲン」ヨリ「シエンステット」ニ通スル街道ヲ警戒セヨ、余ハ貴官ニ龍騎兵一小隊ヲ



授クルヲ以テ晝間ハ之ヲ「ガルケン」丘ニ分遣シ夜間ハ「レムリンゲン」ノ南方部分―即チ彼處ニ在ル―ニ於テ宿營セシムシ

B大尉ヨ―貴官ハ貴官ノ(第四)中隊ヲ率ヒテ「ウルフインゲン」ノ東北方―即チ此所ニ在ル村落―ニ於テ村落露營ヲ爲シ「ウルフインゲン」ヨリ「シエンテット」ニ通スル街道ヲ警戒セヨ貴官ニ附屬スル龍騎兵一小隊ハ晝間ハ小哨ニ任シ之レヲ「ウイントミュレン」丘ノ側ヲニ在ル森林ニ分遣シ夜間ハ「ウルフインゲン」ノ南方ニ於テ宿泊セシムベシ  
夜間「レムリンゲン」及ヒ「ウルフインゲン」間ノ連絡ハ

「アウエ」河ニ沿フテ行進スル歩兵斥候ヲ以テ確實ニ之ヲ維持シ又夜間騎兵斥候ヲ「シエンステット」ノ方位ニ派遣スヘシ、

第二第三中隊及龍騎兵第四中隊ハ前哨本隊トナリテ彼處ニ在ル丘阜ノ西南麓ニ於テ露營ス可シG大尉ヨ余ハ貴官ヲ露營司令官ニ任ス因テ精密ナル部署ヲ爲ス可シ兩中隊ハ同時ニ炊爨シ得可シ又兩中隊ヨリ外衛兵ヲ丘頂ニ在ル標高六九、及ヒ六五、ニ出スヘシ、

糧食ハ將校ヲシテ第一及ヒ第二中隊「ハレムリンゲン」ヨリ第三及ヒ第四中隊ハ「ウルリンゲン」ヨリ徵發



セシム可シ大行李ノ到着ニ關シテハ未タ通報ニ接  
セズ、

夜間ノ位置ハ午後第七時ニ晝間ノ位置ハ午前第五  
時ニ於テ之ヲ取ル可シ、

余ハ前哨本隊ニ在ツテ報告ヲ受ク、

野外要務令ニ曰ク前衛司令官ハ晩クトモ駐止ノ命令ヲ  
受クルト同時ニ當夜本隊及ヒ前衛本隊ノ止宿スヘキ地  
及其他前衛ノ爲スヘキ事ニ就テ諭示ヲ受ク直チニ地圖  
ニ從ツテ前衛命令ヲ下シ前哨司令官ハ之ニヨリ前哨命  
令ヲ下スモノナリト然レモ今茲ニ陳述スルカ如キ小枝  
隊ニ在テハ宿營中前衛ヲ設置セスシテ單ニ之ヲ本軍及

ヒ前哨ニ區分スルカ故前衛命令ナルモノナク前哨司令  
官ハ直ニ枝隊司令官ヨリ前哨ニ關スル諭示ヲ受クルモ  
ノトス而シテ前哨司令官ハ多クハ地圖ニヨツテ前哨命令  
ヲ下スヲ良トス若シ前哨司令官前哨命令ヲ出スニ先チ  
疑ハシキ地形ヲ熟察セント欲シ軍隊ヲシテ其位置ニ進  
入スル以前長時間之カ命令ヲ待タシムルカ如キハ宜シ  
ク之ヲ避ケサル可ラス而シテ地圖ニ從ヒ命令ヲ下サント  
スルモハ下級指揮官ヲシテ地形ヲ應用セシムル爲メ極  
メテ概略ニ限ラザル可ラス然レモ上ニ示シタル場合ニ  
於テハ枝隊命令ヲ受ケタルモ前哨司令官ハ部下軍隊ヲ  
卒ヒテ占領スヘキ位地ニシテ展望充分ナル所ニ在リ故



ニ時間ヲ浪費スルヲナク地形ニヨリテ前哨命令ヲ下シ且ツ他ノ場合ニ於ケルヨリモ一層精密ニ其占領スヘキ位置ヲ指示シ前哨命令ノ實施ヲ確實ナラシムルノ利益アリキ

上ニ示シタル前哨命令ノ方式ハ奇異ノ觀アラシク然レモ該命令ハ口演ナルヲ以テ當ニ之ヲ談話体ニ記載セサルヘカラス否ラサレハ實際ト相異スルニ至ラン又各村落ノ位置ヲ指示シタルハ奇ナラスヤ然レモ是レ實際ノ情況ナリ蓋シ戦闘ニ於テ軍隊ノ將校ハ敵ヲ視察シテ地圖ヲ視察セス教時間行進スルノ後始メテ地圖ヲ觀ルノ猶豫ヲ得ルモ自己ノ所在地ヲモ之ヲ判定スルヲ難キトア

リ余ハ將校ノ戰鬥中通過シ或ハ攻撃スル村落ノ名稱ヲ知ルハ數時ノ後ニ在ルヲ經驗セリ故ニ戰鬥后現地ニ於テ口演命令ヲ下サントセハ下級指揮官ハ最初ニ地形ニ關シ判定スル所ナカルヘカラス此レカ判定ナクソハ恐クハ命令全ク錯誤スルノ虞アラシク却說前哨司令官ノ配備法ニ就キ觀察ヲ下スニ步兵一中隊及ヒ龍騎兵一小隊ヲ以テ編成シタル混成二枝隊ハ「シエ」ニ通スル街道ニテ「アウエ」川ノ背后ニ在ル村落ヲ占領シ他ノ二中隊ハ前哨本隊トシテ其中央后ニ露營セリ

野外要務令ニ曰ク前哨ハ通常前哨本隊前哨中隊及ヒ前



哨騎兵ニ區分スト、然レモ本例ニ於テハ前哨騎兵トシテ直接ニ前哨司令官ノ許ニ在ル騎兵部隊ヲ現在セシメスシテ此騎兵ヲ等分シ之ヲ前哨中隊ニ附加シタルヲ以テ要務令ノ區分ト相異ス是レ此區分ハ地形及時機ニヨリ變化スルモノナレバナリ即チ前哨位置ノ正面ニハ只二個ノ街道ヲ通シ此兩街道ノ中間ニ在ル地形ハ困難ナル障害物ヲ以テ之ヲ閉塞スルヲ以テ騎兵ヲ獨立セシメ直接ニ前哨司令官ニ從屬シテ一梯隊ヲ編成スルヨリモ寧ロ之ヲ前哨中隊ニ分屬シ騎兵ノ二扣兵ヲ設置スルノ適當ナルニ若カザレバナリ野外要務令第四十九頁ニ曰ク、地形險難ナルカ或ハ敵ト接近スル時ノ如キ特異ノ形勢

ニ在テハ特別ニ前哨騎兵ヲ配付セス此ノ如キ時ハ前哨本隊及ヒ前哨中隊ニ其須要ニ從カセ騎兵ノ小部隊ヲ附屬セシム但シ此ノ騎兵ハ少ナクモ傳令騎兵ニ十分ナルヲ要スト

要務令中ニ此ノ注意ヲ記載セスト雖モ上ニ示シタル場合ニ於テ人若シ最初記載シタル三梯隊ニ區分スルノ字義ニ拘泥セハ之レ要務令ノ精神ニ反スルモノナリ、其他上ニ記載シタル前哨命令ヨリ生スル疑問ハ前哨司令官ノ定ムヘキ部署ハ如何ナル細部ニマテ及ホスヘキ乎ニ在リ地圖ニヨリ下シタル命令ハ現地ヲ視察シタル后下シタルモノ、如ク精密ナル可ラス蓋シ前哨ノ各位



地ヲ指示スルヲ精密ナルハ地形ヲ觀察シタルモニ限ル  
 可キモノトス何トナレハ地圖上ニハ甚タ利アルカ如キ  
 觀ヲ呈スル地點ト雖モ實際ハ高ク生長セル植物地ナル  
 カ或ハ地圖上ニ示サ、ル他ノ植物ヲ耕作スルヲ以テ軍  
 隊ノ配置ニ用ユヘカラサルヲ往々ニシテ之アレハナリ  
 又小哨ノ數タモ地圖ニヨルモハ之ヲ確定スルヲ能ハサ  
 ルヲナリ即チ地形不明了ナルモハ前哨司令官タルモノ  
 其部署ヲ精密ニ確實スルヲ能ハス然レモ上ニ示ス場合  
 ノ如キ司令官ハ豫メ地形ヲ觀察スルノ機會ヲ有シタラ  
 ンニハ如何ノ精密ニ部署スルヲ得可シ平時ハ戰術ノ演  
 習ヲ爲スニ上官タルモノ單簡ナル任務及ヒ命令ヲ與ヘ

之ヲ許ス限リハ其實施ヲ下級指揮官ニ放任シ下級指揮  
 官ノ行爲力ヲ知ラシムヲ要ス此時下級指揮官ハ過失ハ  
 不利益トナラス反ツテ下級指揮官ヲ教習スルノ手段ト  
 ナルベシ戰時ハ如此餘地ヲ存セス各官全カヲ盡シテ軍  
 隊ノ利益ヲ計ラサルヘカラス故ニ上官ハ決シテ下級指  
 揮官ヲシテ疑念ヲ生セシムルカ如キ任務及命令ヲ與フ  
 可ラス是レカ爲メ上官ハ下級指揮官ノ行爲力ニ關シ預  
 メ之ヲ知ルヲ必要トス上官ハ下級指揮官ノ性質及ヒ才  
 智ヲ考慮シ任務ノ輕重ヲ計リ以テ之ヲ與フルハ上官ニ  
 於テ必要ナル任務ノ一ナリ因是下級指揮官ハ過失ナキ  
 ヲヲ得ン營ヘハ上ニ示シタル場合ニ於テレムリシ



ニ派遣シタル中隊長充分熟練セルモノナル時ハ晝間警戒スルト否サルトハ宜シク之ニ放任シテ敢テ之ヲ指示スルヲ要セスト雖モ若シ此ノ中隊長不幸ニシテ戦死シ少年ノ尉官(恐クハ豫備將校)之ニ代リテ中隊ヲ指揮スルモノトセハ前哨司令官ハ尉官ノ動作果シテ適當ナルヤ否ヲ疑フニ至ル可シ然ルモハ一回命シタル配備ヲ變更シ軍隊ニ困難ヲ感セシムルカ如キ事ヲ避ケンカ爲メ前哨司令官ハ細密ナル命令ヲ下スヲ適當トナス即チ司令官レムリندگانノ方ニ行進スル少年尉官ニ向ヒ貴官ハ晝間ハ中隊ヨリ二個ノ獨立下士哨ヲ出シテ警戒セシメ其一ヲ橋梁ニ他ノ一ヲ淺瀬ノ傍ニ配置シ夜間ノ位置ニ

關シテハ余ハ更ニ之レヲ指示スヘシナル命令ヲ與フル時ハ是レ前哨司令官ノ動作其正當ヲ得タリト云フハシ、

野外要務令第五十三頁ニ於テ前哨司令官ハ敵ノ攻撃ヲ受クル時ニ於テ取ルヘキ動作ヲ各下級指揮官ニ命スヘキヲ記載セリト雖モ茲ニ與ヘタル前哨命令中ニハ曾テ之ニ關シ記載セサル所以ハ蓋シ軍ノ中隊長タルモノハ敵兵若シシエンスラツトヲ經テレムリゲンノ進スル時ニ當リ橋梁及ヒ村落ヲ防禦セサルヘカラサル如キハ皆ナ之ヲ了知スルヲ以テナリ若シ之ヲ記載スル時ハ只冗長ニ過キサル可シ然レモ戰鬥ニ在テ如此ク状況ノ明



カナルコハ甚タ稀ナルヲ以テ多クノ場合ニ於テハ之ニ  
 關シ多少陳述スルコト亦必要ナシトセス唯敵ノ攻撃方向  
 及ヒ方法ノ如何ニ由ツテ我カ定メントスル方法モ亦種  
 々ニ變換スルヲ以テ今之ニ關シテ規定ヲ與フルコトハ到  
 底爲シ得ヘキモノニアラサルナリ、  
 又野外要務令ニ曰ク前哨司令官ハ通常查哨ノ占領スヘ  
 キ街道ヲ示スモノトスト、然レモ本例ノ如キハ前哨中隊  
 及ヒ騎兵ハ查哨ヲシテ占領セシムヘキ街道ニ關シテ更  
 ニ疑ヲ存セサル可是レ之ヲ示サ、ル所以ナリ、若シ前哨  
 司令官此レヲ指示スルモノトセハ只要務令ノ文字ニ拘  
 泥シタル者ト謂フ可シ、

前哨命令中ニ騎兵ハ夜間ニ斥候ヲシエンステツトノ方  
 向出スヘシト云ヘリ蓋シ此教示ナキモ要務令特ニ之ヲ  
 記スルヲ以テ中隊長ハ應ニ此斥候ヲ出サ、ル可ラス然  
 レモ騎兵ハ其馬匹ヲ節用センカ爲メ夜間斥候ヲ出スタ  
 欲セサルハ吾人ノ常ニ經驗スル所ナルヲ以テ特ニ之ヲ  
 命ジタルナリ況ンヤ本例ノ如キ我軍ノ擊退シタル敵兵  
 ガ暗黒ニ乘シテ何レノ方位ニ退却スルヤ時機ヲ失セズ  
 之ヲ探知スルニハ此ノ斥候ヲ以テ最大必要ノ事ト爲ス  
 於テヲヤ若シ馬匹ヲ節用セント欲シテ如此キ夜間斥  
 候ヲ出サ、ル時ハ寧ロ馬匹ノ節用法ヲ過リタルモノト  
 云フヘシ、何トナレハ當初ニ在テハ僅少ナル夜間斥候ヲ



以テ爲シ得可キ觸接モ時機ヲ失スルニ至テハ是レカ爲メ騎兵全中隊ノミナラス騎兵師團ヲモ之ヲ煩ハサソル可ラサルニ至ルモノナレバナリ

前哨司令官ハ諸報告ノ輻湊ニ便ニシテ且ツ最モ速ニ命令ヲ下シ得ヘキ場所ヲ撰定シテ自ラ茲ニ位置セサルヘカラス、如此キ位置ハ通常前哨本隊ニ若クモノナシ然レモ必ラス前哨本隊ニ在ラサルモ其近傍ニ在ル家屋ニ其位置ヲ撰定スルヲ得、此時樂手及ヒ通報騎モ亦茲ニ在ラサルヘカラス

前哨司令官ハ前哨中隊ノ配置ヲ檢スル爲或ハ他ノ原因ノ爲屢々前方ニ赴ムクニアリ然ル時ハ前哨本隊ノ内務

ニ關スル處置ハ之ヲ前哨本隊ノ最古參將校ニ委任スルヲ良トス然ルモハ戰鬪準備ノ度及ヒ警戒法ニ關スル指示ヲ與フ可シ輒チ己レ前方ニ赴クヤ之ニ指揮ヲ委任スルナリ、前哨本隊ノ露營ヲ爲スハ敢テ必要トセス時機ニ依リ前哨中隊ト雖モ村落露營或ハ舍營ヲ行フニアリ前哨司令官此ノ決定ヲ爲スニハ宜シク先ツ敵ノ攻撃ヲ慮リ次ニ其位地前哨ノ受ケタル任務ヲ盡スニ利害如何ヲ考フヘシ、夫レ第一線ニ在ル部隊ノ戰鬪準備ノ度ハ第二線ニ在ル部隊ニ於ケルヨリモ一層大ナラサルヘカラスト雖モ前ニ陳ルカ如ク前哨本隊ハ適當ナル村落ヲ有セサルカ爲メ露營ヲ行フモノナレハ前哨中隊之ニ做フテ



露營スルヲ要セサルハ論ヲ俟タス即チ前哨中隊適當ナル村落ヲ有シ且ツ敵ノ攻撃ヲ恐レ露營シテ戦闘準備ヲ爲スヲ要セザレハ前哨中隊村落露營ヲ行フモ妨ケナカルヘシ、

前哨中隊及ヒ獨立梯隊トシテ派遣セラレタル前哨騎兵ハ配備ヲ終リタル后直チニ之ヲ簡單ナル略圖ニ画キ前哨司令官ニ報告シ前哨司令官ハ又適當ナル報告ヲ作り前衛司令官若クハ枝隊司令官ニ呈出スルモノトス、本例ニ於テハ前哨司令官自カラ主要ナル部署ヲ定メ敵情之ヲ變更スルヲ要セザルモノト假定シ枝隊司令官ニ呈出スヘキ前哨司令官ノ此ノ報告ハ前哨命令ヲ與ヘタル后

直チニ之ヲ爲シ得ヘシ、

總テ各軍隊ヲシテ協力動作セシムヘキ口演命令即チ上ニ陳ベタル前哨命令ノ如キハ口演ノ後之レカ實施ヲ止ムルヲナク尙ホ命令受領者ニ筆記セシムルヲ良トス之レ當ニ各級ノ將校ヲシテ戰況ヲ熟知セシムルノミナラズ口演シテ定メタル部署ヲ忘却セシムルヲ勿ラシカ爲ナリ故ニ前哨司令官ハ其副官ヲシテ尙ホ左ノ命令ヲ筆記セシメタリ

「ブランダンゼ」ノ東北ニ在ル前哨本隊ニ於テ千八百、〇、〇年九月一日午后第三時三十分

前哨命令



- 一 敵ハ「シエンステット」マデ退却セリ
- 二 我カ枝隊ノ本隊ハ「ブランケンゼー」ニ露營ス、
- 三 余ハ歩兵第七十九聯隊第一大隊及ヒ龍騎兵第十六聯隊第一中隊ノ一半ヲ卒ヒテ「アウエ」河畔ニ前哨ヲ配置セントス
- 四 第一中隊ハ「レムリンゲン」ノ北部ニ露營シ「レムリンゲン」ヨリ「シエンステット」ニ通スル道路ヲ警戒シ之レニ付屬スル龍騎兵小隊ハ晝間小哨トナリテ「ガルゲン」丘ニ停止シ夜間ハ「レムリンゲン」ノ西南ノ部分ニ宿營スヘシ
- 五 第四中隊ハ「ウルフィンゲン」ノ東北部ニ露營シ

- 「ウルフィンゲン」ヨリ「シエンステット」ニ通スル道路ヲ警戒シ之レニ付屬シタル龍騎兵小隊ハ晝間小哨トナリテ「ウインドミウレン」丘ノ森林ニ停止シ夜間ハ「ウルフィンゲン」ノ南部ニ宿營スヘシ、
- 六 第二中隊第三中隊及ヒ龍騎兵四名ハ前哨本隊トナリテ丘阜ノ西南麓ニ露營スヘシ
- 七 午後第七時ニ夜間位置ヲ午前第五時ニ晝間位置ヲ取ルヘシ
- 八 夜間ハ歩兵斥候ヲ「アウエ」河ニ沿フテ騎兵斥候ヲ「シエンステット」ノ方ニ派遣スヘシ、



九 今晚第九時前哨本隊ニ於テ命令ヲ與フ

十 余ハ前哨本隊ニ在リ、

前哨司令官 少佐 N

如此キ筆記命令ハ勉メテ單簡ニ記シ受領者ヲシテ無益ノ時間ヲ費サシムルコトナク且ツ隨意ニ命令ヲ削除セシムルコト莫ラシム可シ總テ命令ハ言語ノ儘記載スルコトニ注意セサルヘカラス何トナレハ受領者ハ多少アリトモ奇異ナル文字ヲ搜入スルホハ命令ノ意ヲ誤解スルコト屢アレハナリ然レモ司令部及軍隊ヲ示スニ意義ノ通ズル限リハ之ヲ略記スルヲ得ヘシ、  
上ノ命令ニ於テ九月二日ニ於ケル作戰命令ヲ受領スヘ

キ時刻ヲ記載セリ此時刻ハ枝隊司令官ヨリ未タ命令ヲ受領セサル時ト雖モ記載スルヲ良トス此作戰命令ハ前哨司令官ノ副官ガ「ブランクンジン」ニ至リ受領スヘキ者トス

再ヒ給養ニ關スル通知ヲ陳ヘサル所以ハ各隊皆既ニ之ヲ知り復タ敢テ忘却スルコトナキヲ以テナリ  
前哨司令官ハ前哨各部ノ配置適當ナルヤ否ニ關シテ責任ヲ負ワサル可ラザルヲ以テ之ヲ檢センカ爲メ一度ハ巡回スルナラン然レモ前哨司令官其撰定シタル場所ヲ勉メテ離レサルハ前哨勤務特ニ報告勤務ノ爲メ甚々必要ナルコトヲ忘ル可ラス故ニ前哨司令官ハ時機ニヨリ配



置ヲ檢スルカ爲メ已レノ場所ヲ離レサルヲ以テ利アリ  
 トス戰時ニ在テ前哨司令官ノ前哨ヲ巡回シテ下級指揮  
 官ノ定メタル配置ヲ變更スルハ不適當ナル時ニ於テノ  
 ミ之ヲ爲スヘシ此如キ處置ハ啻ニ兵卒ノ直接上官ニ對  
 スル信用ヲ失フノミナラス尙ホ且ツ軍隊ヲ疲勞セシム  
 ルヲ免カレサレハナリ例令ヘハ兵卒カ露營地ニ於テ  
 炊爨ノ準備ヲ爲シタル後只若干百米突前方、側方或ハ後  
 方ニ移ラシメントシ之ヲ撤セシムルカ如キコアラハ兵  
 卒ニ困難ヲ來スト之レヨリ大ナルモノナカラズ、  
 若シ前哨司令官前哨ヲ巡回スルニ決シタル時ハ之ヲ前  
 哨本隊ノ最古參大尉タル露營司令官ニ告ケ本隊ニ關ス

ル指揮ヲ委任スルモノトス本例ニ於テ前哨司令官ハ特  
 別ノ諭示ヲ與フルヲ要セス何トナレハ敵ハ攻撃シ來ル  
 一殆ントナク且ツ地形開濶ニシテ前哨司令官ハ前哨ノ  
 各點ヨリ本隊ノ進出ヲ要スルカ如キ不慮ノ事件アラハ  
 之ヲ目撃シ得ヘケレバナリ

前哨司令官ハ巡回中下級指揮官ノ採リタル配置ニ關シ  
 下級指揮官ヨリ之ヲ聽知シ得タリ其配置次ノ如シ  
 第一中隊ハレムリندگانノ北部ニテ街道ニ接シタル大  
 ナル農家ノ庭内ニ村落露營ヲ爲シ兵卒ハ庭ニ向ヒ開放  
 シタル小舎ニ宿シ其ノ前方ニ銃ヲ立掛ケ且ツ背囊ヲ置  
 ケリ庭ノ中央ニハ露營火ヲ焚キ兼テ炊爨ノ用ニ供セリ



二名ノ龍騎兵ハ報告騎兵トシテ裝鞍シタル馬匹ノ傍ラ  
 ニ一個ノ複哨ハ街道ニ通スル廣キ出口ノ前方ニ於テ停  
 止セリ此處ヨリ「シエンス」トノ方ニ通スル街道「アウ  
 エ」川ノ橋梁ニ至ルマテ監視スルヲ得又中隊長報告シテ  
 曰ク晝間ハ下士一名兵卒六名ヨリ成ル所ノ二個ノ獨立  
 下士哨ヲ編成シ第一ヲ橋梁ノ傍ラニ第二ヲ淺瀬ノ邊ニ  
 配置シ村落入口ヲ占領スルカ如キハ中隊ノ爲ニ必要ナ  
 ラサルカ如シト(然レモ敵國ニ於テ人民ノ舉動疑ハシキ  
 時ハ之ヲ占領スルヲ必要ナリ)又中隊長ハ夜間ニ至レハ  
 橋梁ノ傍ニ在ル下士哨ヲ半小隊ノ兵力ヲ有スル小哨ニ  
 換ニ淺瀬ノ邊ニ在ル下士哨ハ之ヲ交代セシメ龍騎兵ハ

晝間既ニ「レムリ」ンゲンノ南部ニ在ル小屋ニ總テ馬匹及  
 テ兵卒ヲ宿營セシムルノ準備ヲ爲シ敵ノ舉動依然靜謐  
 ナル時ハ部隊毎ニ馬鞍ヲ脱セシメ而シテ夜間ハ歩兵斥候  
 ヲ二時間毎ニ「アウエ」川ニ沿ヒ騎兵斥候ヲ「シエンス」テ  
 トノ方ニ派遣スルモノトセリ  
 第一中隊ニ屬スル龍騎兵小隊ハ街道ノ東方ニテ「ガルゲ  
 ヲ」丘ノ南麓ニ小哨トナリ下馬シテ停止セリ其直接警戒  
 ノ爲メニ「ハー」ノ交通哨ヲ置キ而テ下士一名兵卒三名ヨ  
 リ成ル第一下士哨即チ查哨ヲ北方高地標高三八ニ尙下  
 士一名及ヒ兵卒六名ヨリ成ル第二下士哨ヲ「ガルゲン」丘  
 ニ在ル森林ノ北端ニ置キタリ



「ウルフエンゲン」ヨリ「シエンステット」ニ通スル道路ヲ警戒スル第四中隊ニ属スル騎兵小哨ハ一ノ交通哨ヲ「ウインドミューレン」丘ニ在ル小森林ノ西南端ニ置キ而シテ下士一名、兵卒六名ヨリ成ル下士哨即チ查哨ヲ道路ノ近傍小森林ノ東北端ニ騎兵三名ヲ以テ編成シタル騎哨又「ウインドミューレン」丘ノ北部頂上ニ於テ下馬セシメ置キタリ

第四中隊ハ第一中隊ノ如ク宿營シ夜間ノ爲メニ同一ノ部署ヲ爲シタリ即チ晝間ハ下士哨ヲ「アウエ川」ニ在ル橋梁ノ邊ニ設置シ夜間ハ小哨ト交代セシム

前哨本隊ニ於テハ露營司令官一個ノ内衛兵風紀衛兵ト二個ノ外衛兵ヲ両丘頂ノ方ニ配置シタリ又此ノ外衛兵ハ

一復哨ヲ排置シタリ其兵力ハ下士一名及ヒ兵卒六名トス夜間ハ二個ノ復哨ヲ排置セシカ爲メ各外衛兵ノ兵力ヲ二倍セサルヘカラス

總テ此ノ説明ノ基礎トナリタル野外要務令ハ吾人カ囊ニ行フタル如ク前哨ノ爲メ大ニ兵卒及ヒ馬匹ノ力ヲ節用スルヲ説タリ是ヲ爲スニハ宿營ノ方法最モ關係ヲ有ス故ニ若シ時機妨ナク且ツ敵ノ攻撃ノ危険ハ露營ノ戦闘準備ヲ要セサルニ當テハ前哨本隊前哨中隊及ヒ歩兵小哨ト雖モ皆ナ之ヲ掩蔽ノ下ニ駐在セシムルヲ得騎兵ハ第一線ニ在ラサル時ハ夜間ハ成ル可ク宿營シ通常部隊毎ニ鞍ヲ卸シ得然レモ決シテ閉鎖シタル場所ニ



於テ駐止スヘカラス而メ前哨本隊及ヒ前哨中隊ニ在ル  
 兵卒ハ多クノ場合ニ於テ武裝ヲ解キ小哨ニ在テハ背囊  
 及ヒ背后ノ彈藥盒ヲ卸シ得ヘシ哨兵ノ銃ヲ建テ或ハ背  
 囊及ヒ背后ノ彈藥盒ヲ卸シ或ハ喫烟スルカ如キハ小哨  
 司令ノ規定スル所ナリ騎兵ノ下士哨ニ在テハ通例皆ナ  
 下馬スト雖モ其内二名ノ監視者ヲ置クヘキモノトス騎  
 哨ニ在テハ只二名乘馬シ而シテ三名ナル時ハ皆ナ下馬  
 シ得ヘシト雖モ其内二名ヲ交番ニ監視ニ任セシメ第三  
 ノ騎兵ヲシテ他ノ二名ノ馬匹ヲ保タシム野外要務令ハ  
 總テ吾人カ曩ニ行フタルヨリモ大ニ其制限ヲ廣フシ且  
 ツ總テ獨斷專行ノ動作ヲ許シ最下級ノ指揮官ニモ其固  
 有ノ判定力ヲ要求セリ

### 第一問題

戰况(第二掌圖參觀)

西軍團ハ「チュルナウ」ノ西方凡ソ二獨里ニテ國境山ノ背  
 後ニ集合シ六月一日「チュルナウ」及ヒ「リボホウイツ」ニ前  
 進シ國境ヲ超過セシ「イ」ヲ圖レリ之カ爲メ西軍團ハ五月  
 二十九日ノ朝一枝隊ヲ大佐ニ付シ「リボホウイツ」ノ方  
 向ニ派遣ス蓋シ其ノ任務ハ西軍團ノ六月一日ニ該山ヲ  
 越ヘテ行進スルノ企圖ヲ確實ニ施行セシムルニ在リ且  
 ツ此枝隊ハ軍團ノ未ダ至ラサルニ當テハ唯斥候ヲシテ  
 國境ヲ超過セシムルヲ得ルノミ



敵ハ「ライヘンベルヒ」ニ於テ四千ノ兵力ト其東方六獨里  
 ニ於テ二萬ノ兵力ヲ有スル「明カナリ」  
 未タ公然タル開戦ノ宣告ナシト雖モ對敵ノ期ハ將ニ隣  
 間ニ在ラントス  
 軍隊  
 歩兵第七十九聯隊(三大隊)  
 龍騎兵第十六聯隊第一中隊  
 野戰砲兵第十聯隊第一中隊  
 工兵第十大隊第一中隊

天候

氣候溫和ニシテ夜中ハ月光皎々タリ

問題

X大佐ハ如何ニシテ其任務ヲ盡スヤ

説明及ヒ答解

第一ニX大佐ガ「リポホウイツ」ニ向フ所ノ前進ハ如何ナ  
 ル部署ヲ用ユ可キヤヲ考定セサル可ラス  
 此ノ前進ハ枝隊ノ行フヘキ戰時行軍ノ發端ナリ軍團ハ  
 動員ニ先チ各地方ヨリ徒步行軍ヲ以テ國境ニ來集セリ  
 ト雖モ不意ノ敵襲當時尙ホ未タ目前ニ迫ラサルヲ以テ  
 軍隊ハ未タ敵前ニ於テ探ルヘキ警戒法ヲ用ユルヲ要セ  
 サルナリ然レモ茲ニ示シタル場合ニ於テハ既ニ「ライヘ  
 ンベルヒ」ニ在ル敵ト衝突スルノ患アルヲ以テ行軍ハ嚴



ナル警戒法ヲ用ヒサルヘカラス、仮令此警戒法ヲ要セズ  
トスルモ枝隊司令官ハ召集シタル預備兵ニ警戒勤務ノ  
何物タルヲ了知セシメンカ爲メ勉メテ戰時的ニ行軍ス  
ルヲ良トス如此ハ雷ニ預備兵ノ爲メノミナラス尙ホ且  
ツ將校及ヒ兵卒ノ爲メ戰時定員ヲ有スル軍隊ニ慣レシ  
ムル爲メ之ヲ實踐スルハ極メテ必要ナリトス  
獨立隊長ヨリ與フヘキ作戰命令ハ次ノ如シ、  
一 敵ニ就テノ狀況 但受命者ノ爲メ緊要ナルモ  
ノハミ  
二 受ケタル任務或ハ我軍一般ノ目的  
但シ諸隊ニ傳フルヲ要スルモノハミ

三 軍隊區分

四 軍隊區分ニ依ツテ成立セシ各部隊ノ任務及ヒ  
各部隊ノ出發スヘキ時刻及進行スヘキ道路ノ  
告示、  
五 分離シタル大行李、彈藥縱列及ヒ輜重ニ下ス命  
令、但シ軍隊ニ關シ必要ナル事項ノ  
六 運動ノ開始ニ當テ命令官ノ所在、  
軍隊區分ニ依ツテ成立セシ各部隊ノ行軍序列ハ其司令  
官之ヲ定ムヘキモノトス、命令官ハ軍隊區分ヲ爲スニ兵  
種毎ニ(歩兵、騎兵、砲兵等)軍隊ヲ指示ス唯自カラ本隊ヲ指  
揮スル時ハ(命令官ノ本隊ヲ指揮スルハ通常ナリ)本隊ノ



行軍序列ヲ告示ス例外ノ場合ニ於テ筆記命令中直ニ行軍序列ノ指示ヲ要スルハ本隊ノ各部隊ヲ行軍序列ニ從オツテ記載シ軍隊區分ノ下ニ(同ク行軍序列)ナル文字ヲ加フニシ

吾人ハ步兵一大隊騎兵中隊(但シ該中隊ヨリ報告騎兵トシテ本隊ニ與ヘタル若干名ヲ除ク)及ヒ工兵一部隊ヲ以テ前衛ヲ組織セソトス元來又騎兵中隊ハ本隊及ヒ前衛ニ必要ナル報告騎兵ヲ除クノ外ハ野外要務令ニ準シ之ヲ獨立騎兵トシテ派遣シ枝隊司令官ノ直接指揮ニ屬セシムルヲ得可シ然レモ本例ノ如キハ騎兵ハ他ノ軍隊ト同シク五月二十九日ニ於テ只一日行程ヲ進ミ同日直ニ

之ニ相合スヘク且ツ其兵力三小隊ニ過キサルモノナシハ之ヲ獨立モシタルヨリモ寧ロ前衛ニ屬スルヲ以テ適當ナリトス前衛司令官ハ部下ノ軍隊ヲ前衛本隊前兵及ヒ前衛騎兵ニ區分スベシ前衛本隊ハ步兵ノ大部ト砲兵現在スル時ハ此兵ヲ合シテ編組シ而シテ前兵ハ大約前衛本隊ノ步兵ノ四分一乃至三分一ト之ニ必要ナル騎兵及ヒ工兵トヨリ成ルモノニシテ若シ前兵ノ兵力衆多ナルハ更ニ之ヲ區分シテ其步兵ノ四分一乃至三分一ヲ前方ニ出シ前兵ノ前ニハ步兵尖兵、步兵尖兵ノ前方ニハ騎兵尖兵在リ騎兵尖兵ハ前方ニ進ム所ノ前衛騎兵ト連絡ヲ維持スルヲ以テ其任務トスルモノナリ右ノ如クナ



本隊ハ杖隊ノ本隊ニハ尙ホ歩兵二大隊報告騎兵砲兵中  
 隊及ヒ工兵中隊ノ殘餘アリ、  
 此ノ縱隊ノ行軍序列ハ大約左ノ如シ、  
 三小隊ノ前衛騎兵ハ最先頭ニ前進シ其一小隊ヲ前兵ト  
 ナシ更ニ尖兵ヲ前方ニ出セリ騎兵尖兵ハ將校一名騎兵  
 四乃至六名ニシテ後方ニ連絡ヲ通スルカ爲メ通常一乃  
 至二名ノ騎兵ヲ街上ニ進メ而シテ街道ノ近傍ニ在ル丘阜  
 ヲ利用シテ搜索シ躍進ヲ以テ前方ニ進ミ大約四百歩ヲ  
 隔テハ前兵(一小隊)ノ前方ニ在リ此ノ前兵ノ後方大約五  
 百歩ニハ騎兵本隊跟隨セリ行進ハ速歩及ヒ常歩ヲ交換  
 シ一分時ニ大約二百歩ヲ進ムモノトス前衛騎兵ノ本  
 隊速歩ヲ取リテ行進ヲ起スヤ前衛ノ前兵殊ニ騎兵尖兵  
 之ニ次テ進ミ此尖兵ハ之ヲ指揮スル將校ナキヲ以テ下  
 士之ヲ指揮シ主トシテ前衛騎兵ト連絡ヲ維持スルヲ  
 勉メタリ然レモ此尖兵ハ大部隊殊ニ前衛騎兵ヲ遠ク前  
 方ニ進出セシメタル時ハ亦警戒ノ勤務ニ兼任スルモノ  
 トス此前衛前兵ノ騎兵尖兵ノ後方ニハ野外要務令ニ從  
 ヒ步兵尖兵(士官一名及ヒ少ナクモ步兵一分隊)散開隊次  
 ニ在リ之レニ躡從シ其後方大約四百歩ヲ隔テ步兵一中  
 隊及ヒ工兵部隊ヲ以テ編成セリ前兵之ニ繼進セリ又  
 其後方大約五百歩ヲ隔テ步兵三中隊及ヒ若干ノ報告騎  
 兵ヨリ成立シタル前衛本隊進ミ杖隊ノ本隊ハ前衛ノ



後尾自前大約六百歩ヲ距離ヲ取りテ進ミタリ、枝隊司令  
管本隊先頭至テ砲兵司令官及ヒ騎兵中隊ヨリ派遣  
シタル報告騎兵ト共ニ進退其背後ニハ密集シタル歩兵  
ニ夫隊迄シテ次第第三段列ヲ着セサル砲兵中隊其背後  
ニ退差其聯隊殘餘ヲ夫隊、主兵中隊ヲ殘餘及ヒ砲兵中隊  
ヲ第二段列ヲ着セタル砲兵中隊ニ關シテ聊カ陳  
更ニ其以軍隊ニ屬スル行李ヲ行軍序列ニ關シテ聊カ陳  
更ニ其以軍隊ニ屬スル行李ヲ行軍序列ニ關シテ聊カ陳  
更ニ其以軍隊ニ屬スル行李ヲ行軍序列ニ關シテ聊カ陳  
更ニ其以軍隊ニ屬スル行李ヲ行軍序列ニ關シテ聊カ陳  
更ニ其以軍隊ニ屬スル行李ヲ行軍序列ニ關シテ聊カ陳

皆大行李ニ屬ス、小行李ハ各部隊ニ屬シ大行李ハ軍隊ノ  
後尾ヨリ大距離ヲ取テ多クハ騎兵ノ保護ヲ受テ密集シ  
テ行軍序列ニ從ヒ行進ス、  
上ニ示シタル場合ニ於テ大行李ハ直ニ軍隊ニ跟隨ス  
普通兵夫隊ノ背後ニハ二頭輓ヲ衛生車一輛及ヒ二頭輓  
ノ中隊彈藥車四輛、工兵中隊ノ背後ニハ四頭輓ヲ工具車  
一輛及ヒ四頭輓ヲ野外枕具車一輛アリ、  
兼行李ハ次ノ如ク車輛縱列ヲ編成セリ、  
第一 聯隊三頭輓ノ本部荷物車  
本部三頭輓ノ糧食車  
一四頭輓ノ騎兵中隊ノ荷物車



第二 騎兵二頭輓ノ糧食車 一  
中隊四頭輓ノ蘆草車 一

第三 前衛二頭輓ノ本部荷物車 一  
大隊二頭輓ノ糧食車 四

第四 先頭二頭輓ノ中隊荷物車 一  
大隊二頭輓ノ糧食車 四

第五 砲兵中隊ノ二頭輓ノ糧食車 一  
後尾二頭輓ノ本部荷物車 一

第六 ノ大ニ頭輓ノ中隊荷物車 四  
一隊二頭輓ノ糧食車 四

第七 工兵二頭輓ノ中隊荷物車 一  
中隊三頭輓ノ糧食車 一

大行李六國境山東方出口ヲ占領スルヲ確實ナルニ非サ  
ルハ決シテ山内ニ街道ニ進入セシムヘカラス、  
行軍縱隊ノ長ハ前衛前兵ノ歩兵尖兵ヨリ枝隊ノ後尾ニ  
至ルマデ大約三千七百歩ヲ以テ本隊ノ後尾ハ歩兵  
尖兵ニ邁ルヲ大約三十七分時ニ於テ共同集合所ヲ發ス  
ルニ至ル可シ、  
今軍隊ノ共同集合所ハ「チビルナウ」ノ東方出口ヨリ二騎  
重ニテ下假定モ、午前第五時ニ該所ヲ出發シ本



隨之屬スル小行軍ニ最終車輛ヲ午前第五時三十分ニ  
始メテ運動ヲ起シ至ル而シテ此時前衛騎兵ノ尖兵ハ七  
千四百歩ヲ通過シ其後尾ハ前衛ノ步兵尖兵ヨリ大約二  
千八百歩ニ在ルヲ見ルニ本隊ニ至ルニ至リテ  
今モ敵兵ハ現在本隊ニ至ルヲ知ルニ速クニ探知スルニ必  
要ナルヲ以テ前衛騎兵ヲ行軍中暫時ノ休憩ヲ行ハシメ  
軍隊ニ本約術時間ニ休憩ヲ爲シ以テ騎兵中隊ハ午前第  
七時頃ニ步兵尖兵ノ第九時三十分頃ニ本隊ノ後尾ヲ第  
十時頃ニ至ルニ至リテ東方ニ在ル丘上ニ到着スルヲ  
得可シト故ニ騎兵中隊長ニ本隊ニ至ルニ至リテ直  
チニ一名ノ騎兵ヲ速歩ヲ以テ敵ノ現在セサルヲ報告

スル時ハ此騎兵ハ即チ午前第七時三十分前後ニチニル  
大ウシ西原大橋ニ獨り於テ本隊ニ至リテ於テ本隊  
ニ休憩ヲ行ハシメ本隊ノ先頭ニ在ル枝隊司  
令官ニ遭遇スルニ於テ是枝隊司令官ハ午前第八時頃其副  
令部長ニ進出スルニ至リテ到着シ又九時頃此  
副令部長ニ因テ第九時頃發進ノ命令ヲ受ケ午後第一  
時頃本隊ニ至リテ西方出口ニ到着シ得ルニ至リ  
吾人ニ先チ午前第七時頃本隊ニ至リテ到着シタル騎  
兵中隊長ハ本隊ニ至リテ定メテ本部署ニ關シ聊カ述  
テト欲スルニ至リテ本隊ニ至リテ到着シタル騎  
枝隊司令官ハ枝隊命令ヲ以テ騎兵中隊長ニ戰況ヲ明示



セリ、リボホウイツノ東方ニ在ル兩丘阜ニ登レハ國境ニ  
 至ルヲテノ地形ヲ觀望シ得可シト雖モ尙ホ此地域ニ在  
 ル所ノ村落ハ既ニ敵ノ占領スル所トナリタルヲ否クヤ  
 ヲ確知セサルヘカラス、其騎兵中隊ハ恐クハ標高一〇〇  
 ノ丘阜ヲ西方斜面ニ至リ標高九〇及一一〇ノ兩丘阜ニ  
 各一騎哨ヲ配置シ且ツ三個少兵候ヲ派遣スルヲ即チ第  
 一少兵候ハ「サウシユウイツ」ヲ「レレル」ウイツヲ經テ「ミヤク  
 ウイツ」ニ第二少兵候ハ「ミンクウイツ」ニ第三少兵候ハ「サ  
 ムユツ」ニ向テ行進セシム而テ技隊司令官ノ「リボホウ  
 イツ」ノ丘阜ニ到着スル頃ニハ既ニ此等兵候ノ報告ヲ獲  
 取スルヲ得可シ

抑モ宣戰前ニ兵候ヲ國境外ニ派遣スルハ高等司令  
 部ノ許可ヲ得ルニ所ナラズ否キニ關シ議論紛々  
 獨乙軍ハ此場合ノ如ク出師準備ヲ整頓シタルノミ  
 ナラス尙集中ヲ行ハントシテ前進シ三日ヲ后ニハ  
 一般ノ攻戰ヲ開始セントスルガ如キ戰爭ノ起ルヤ  
 確實ニシテ宣戰ハ只外形ノ形式ニ過キサル時ニ雖  
 モ宣戰前ニ兵候ヲ國境外ニ派遣スルカ如キハ通禁  
 之ヲ爲サレモノ下然レモ又國境ノ後方五百里  
 深奥ニ在ル軍團ハ國境ヲ連山ヲ出テサルヘカラス  
 ルニ當リ其出口ヲ警戒セサルヘカラスハ豫メ



「ヨボ」のウイツ」ヲ占領セサルヘカヲ然リ而シテ一  
 前哨枝隊又「ヨボ」附近ニ置カサルヘカヲ  
 此者兼テ此時此枝隊自ヲ警戒スル爲少カ  
 「ヨボ」及「サ」ヲ「ヨボ」及「サ」ヲ「ヨボ」  
 索テ爲斥候國境外ニ派遣セサルヘカヲ夫  
 高等司令部カ大部隊ノ國境ヲ通過スルヲ禁  
 時機先々テ戦闘ヲ交フルヲ避ケルヲ欲スル時  
 千八百六十六年普澳間未タ宣戦ナカリシ時即チ六  
 月二十三日普國ヲ襲使テ敵前哨哨遣隊ヲ  
 久普國ノ澳國カ「マ」河邊ニ於テ爲シタル動作

依テ戦争開始シタルト見做シ普國軍隊ハ之レニ對  
 テ「ヨボ」處置ヲ行フ事ヲ大澳國ノ輕騎兵ハ此レヲ先  
 知シ五月即チ六月十八日兩國間ノ國境ヲ超ヘクリン  
 此報告ヲ依テ敵兵此等ノ村落ヲ占領スル且テ敵ノ  
 情報ヲ「ヨボ」偵定スル枝隊司令部カ如何ナル位  
 偵察ヲ敵軍侵入ヲ抵抗スル其要ヲ任務即チ大  
 於テ敵軍我軍團ノ國境山越過ヲ確實ニ  
 決定スル所可キ不該隊司令部カ之レヲ決定  
 陣地及テ宿營ニ關スル命令ヲ下シ得ヘシ  
 軍隊ヲ「ヨボ」無益ニ時間ヲ費スル莫カク爲ル此命











形勢其レ此ノ如キヲ以テ我々軍ハ單ニ前哨ヲ露營セ  
 露營ヲ以テ足レリトシ、枝隊ノ本隊ハ時機ノ之ヲ許ス  
 露營村落宿營ヲ爲シ得ルシ、即チ之ヲ爲シ、リボホウイツ  
 及ヒ、チエルオウノ三村落ヲ利用スルヲ得可シ、若シ、プロ  
 不者ウ、及ヒ、チウシユウイツヲモ利用セントスル歟防禦  
 陣地ヲ何方ニ距ル、其甚ク遠ク且、前哨ヲシテ此ノ兩村  
 落ニ延長セ、チメン、其延伸六千歩以上ニ互リ此  
 ノ微弱ナル枝隊ハ、到底堪ユル、能ハサル可シ、故チ此中  
 「リボホウイツ」ハ宿營ニ最モ適當ス然レ、チ「チボホウイツ」  
 ノミ、宿營スル、其甚ク狹縮ナルヲ以テ、チエルオウヲ  
 利用セ、大ニ此欠ヲ補フノ利益アル可シ、即チ戰鬪開始

ノ際直ニ使用セサル軍隊ヲ此「チエルノウ」ニ宿營セシム  
 ルキハ全隊「リボホウイツ」ニ地ニ宿營スルヨリモ大ニ  
 休養主ニ於ケル鴻益アル可シ  
 砲兵中隊ハ必ラス標高九〇、或ハ同一一〇、ノ兩丘阜ノ一  
 ヲ應用セサルヘカラス、即チ兩丘阜上ニ砲兵肩牆ヲ設ク  
 ル、必要ナリ、而シテ此地ハ開濶ナルヲ以テ晝間ハ敵ノ不  
 期攻撃ヲ受クルノ憂ナク、駕馬ヲ脱シテ兵卒及馬匹ハ之  
 ヲ「リボホウイツ」ノ農圃ニ宿營セシムルヲ得、當該陣地ハ  
 唯チ下士一名及ヒ兵卒六名ヲ、砲車ノ守衛ヲラシムル  
 ヲ以テ足レリトス  
 又砲兵中隊ノ二段列ハ「チエルナウ」ニ於テ宿營シ得ヘシ、



是レ各砲前車ノ彈藥ハ一時間ノ射撃ヲ續行スルニ足レ  
ズナリ如何ニ不利ナル場合ナリト雖モ段列ハ此時間ニ  
於テ容易ニ「チユルナウ」ヲ發シテ砲車ノ位置ニ至ルヲ  
得ヘシ若シ又夜間決シテ砲車ヲ使用セサルモノト斷定  
セハ砲車モ亦タ其砲卒及ヒ馬匹ト共ニ「チユルナウ」ニ於  
テ宿營セシムルヲ得ヘシ

砲兵中隊カ其一部ヲ以テ一日ニ兩回轉舍セサルヘ  
カラサルカ如キハ該中隊ノ爲ニ大ニ不便ナリト雖  
モ中隊長ハ馬匹ニ置鞍シ終夜「リボホウイツ」ニ止ル  
ヨリモ寧ロ兩回ノ轉舍ヲ行ナフニ如カスベシ  
千八百七十年十二月二十一日即チ「ル」アルゼノ戰

闘后強大ノ兵力ヲ有スル佛兵獨ノ近衛軍團ニ對シ  
タル時獨軍ハ近衛砲兵一中隊ヲ從來只步兵ノミニ  
テ占領セル「ル」ヲ「ブランメスニール」ニ派遣シ之ニ増  
員セシメタリ

此ノ時ニ當リ砲兵中隊長ハ該所ニ於テ終夜馬匹ニ  
裝鞍シ在ルヘキ示指ヲ受ケタリ之レ敵ハ該村ノ前  
方三千米突ノ距離ニ在ル「ド」ニ於テ強大ノ兵  
力ヲ以テ陣スルカ故ナリ然ルニ砲兵中隊長ハ此ノ  
不便ヲ免カレンカ爲許可ヲ得テ半獨里后方ニ在ル  
農廬ニ於テ夜間ハ宿泊セリ中隊長ハ此ノ後續イテ  
十二日間此方法ニヨリテ宿泊シ下士卒及ヒ馬匹ハ



夜間ハ常ニ準備シタル舍營ニ入ルヲ得タリ  
又前哨ニ使用セサル騎兵及歩兵中隊モ之ヲ「チユルナウ」ニ送ルヘシ、而シテ大行李ニ至テハ之ヲ「リボホウイツ」ニ前進セシムルヤ否宜シク考慮セサル可ラス

大行李ハ二頭輓ノ車三十五輛四頭輓ノ車四輛ヲ以テ組織シタリ、二頭輓車輛ノ行軍長徑ハ八米突四頭輓車輛ノ行軍長徑ハ十二米突ヲ算ス又各車輛間ニ三、或ニ米突ノ距離ヲ置キ、此ノ如クニシテ枝隊ノ大行李ハ少ナクモ三百九十七米突或ハ四百九十六歩ノ行軍長徑ヲ有スルニ至レリ此ノ車輛中ニ二頭輓ノ糧食車十六輛、四頭輓ノ葛秣車一輛アリ、今此ノ車

輛ヲ「チユルナウ」附近ニ殘置スル時ハ「リボホウイツ」ノ方ニ前進スル車輛ハ二百六米突或ハ二百五十八歩ニ短縮ス

夫レ五月三十一日ニ至ルマデハ優勢ナル敵ニ對スルハ殆ソト無シ而シテ大行李ナキ所ハ太タ不便ナルヲ以テ之ヲ「リボホウイツ」ノ西方出口ニ車陣ヲ作ラシメ糧食車及ヒ葛秣車ハ「リボホウイツ」ノ貯藏品充分ナル所ハ「チユルナウ」ノ西方ニ殘シ置クヘシ  
枝隊司令官ハ午前第九時此決定ヲ爲セリ此時恰モ歩兵ノ先頭ハ「チユルナウ」ヲ通過シタル頃ナリ枝隊司令官ハ直ニ砲兵中隊長ニ命ジ一名ノ喇叭手ヲ砲兵ノ二段列ニ



遺ヲ二段列ハ「チユルナウ」ニ於テ村落露營ヲ爲スヘキ  
ヲ傳達セシメタリ又騎兵中隊長ニモ二小隊ヲ同所ニ舍  
營セシムヘキ指示ヲ與テ尙枝隊司令官ハ筆記命令ヲ作  
ラテ本隊ニ送テ後尾ニ在ル所ノ歩兵中隊ニ「チユルナウ」  
ニ舍營セシメテ該村落ノ警戒ニ任シ午後第一時頃ニ到着  
スヘキ大行李ハ（但シ糧食車及ヒ藪秣車ヲ除ク）リボホ  
ホツ迄前進シ糧食車及藪秣車ハ「チユルナウ」ノ西方出口  
ニ於テ車陣ヲ作テ其他一般ノ軍隊ハ直チニ命令受領者  
ヲ出スヘキ事ヲ命令セリ  
今ヤ枝隊司令官カ其副官ニ命シテ書キ取ラシムヘキ命  
令ハ次ノ如キ部署ニ限ル可シ但シ全隊ニ一般ノ景況ヲ

知ラシムル爲メ既ニ口授シタル所ノ命令ノ一部分ヲ記  
入セリ若シ此ノ命令ニ五月二十九日ニ於テ爲ス可キ條  
テノ部署ヲ悉ク記載セシト欲セハ軍隊ハ爲メニ一時間  
以上運ク休憩ニ就クノ不便アラソ

「日本軍史」ニ於テ千八百、〇、〇年五月二十

九日午前第九時

枝隊命令

- 一 「チユルナウ」ニ「ミシクウイ」及ヒ「サムニ」  
ツハ敵之ヲ占領セズ
- 二 枝隊ハ舍營ヲナシ前哨ヲ配置ス
- 三 A 少佐ハ歩兵第一大隊及ヒ騎兵半中隊ヲ以テ



前哨ニ任シ其本隊ヲ標高一〇及九〇ノ兩丘  
阜ノ西方斜面ニテ「ミンクウイツ」ニ通スル街道  
ノ兩側ニ露營セシメ此ノ兩丘阜ニ據テ敵ノ攻  
撃ニ抵抗シ斥候ヲ「ミンクウイツ」ヨリ「モンクウ  
イツ」及ヒ「サムツツ」ニ派遣スヘシ

四 歩兵第二大隊及ヒ銃兵大隊(但シ一中隊ヲ除ク)  
及ヒ工兵中隊ハ「サボホウイツ」ニ宿營ス可シ

五 砲兵中隊ハ標高一〇ノ丘阜上ニ砲兵肩輿ヲ  
堀開シ茲ニ砲車ヲ布キ其砲卒及ヒ馬匹ハ砲車  
ノ護衛トシテ一砲車少人員ヲ殘シ他ハ「サボ  
ホウイツ」ニ在ル近隣農廬ニ宿營スルヲ得可シ

六 銃兵大隊ノ一中隊前哨ニ任セサル騎兵半中隊  
及砲兵中隊ノ二段列ハ「チユルナウ」ニ於テ舍營  
ス可シ

七 「サボホウイツ」ニ於テ宿營スル軍隊及ヒ前哨ノ  
大小行李(糧食車及蕪秣車ヲ除ク)ハ「サボホウイ  
ツ」ノ西方出口ニ「チユルナウ」ニ宿營スル軍隊ノ  
行李及全隊ノ糧食車及蕪秣車ハ「チユルナウ」ノ

西方出口ニ於テ車陣ヲ作ルヘシ  
八 本日午後第五時「サボホウイツ」ノ舍營ニ於テ余  
ノ命令ヲ受領スヘシ

枝隊司令官 大佐



枝隊司令官ハ副官ニ命シテ此ノ命令ヲ受領者ニ與ヘシ  
 ムル間ヲ利用シ師團若クハ高等司令部ニ呈出スル報告  
 書ヲ作ルモノトシテ師團若クハ高等司令部ノ此ノ報告ニ  
 依ツテ得ル所ノ利益ハ蓋シ鮮少ニ非テサルヘシ  
 報告者ハ報告中官姓名ヲ記載スルヲ以テ報告ノ確實ヲ  
 保證ス可キ者トス故キ報告者ハ過失ナキヤ否ヤヲ檢査  
 スヘシ而シテ其書法ハ電信ノ如ク緊密ナルヲ要シ及其記  
 載スル所ハ實見シシタルカ他ヨリ傳聞シタルカ或ハ臆  
 測ニ過キ其カヲ確實ニ區分シ虚心平易實地ニ背馳ス  
 ルコトナク或ハ過大ニ或ハ過小ニ記載スルコトナキヲ要ス  
 夫ノ戰況ノ一變キサルコト及何レノ所ニ於テモ敵ヲ發見

セサリシト云フカ如キコトヲ記載スルヲ以テ價値アリト  
 スルヲ屢ナリト筆記報告ハ書式ハ載テ野外要務令第三  
 十ニ乃至三十六頁ニ在リ而シテ要務令ノ之ヲ掲ケタル  
 目的ハ報告者ヲシテ報告ハ必要ナル一ニ條件ヲ忘却セ  
 シメザルニ在ルヲ以テ若キ報告者ニシテ印刷シタル報  
 告紙所持セズシテ只一片紙ヲ利用シテ報告ヲ作ル時  
 其當ニ要務令示ス所ノ書式ニ拘泥セハ之レ要務令ノ目  
 的ヲ理解セザルモノト云フヤシ、總テ次ニ記載スル報告  
 中ニハ報告式ニ拘泥セズシテ只之ヲ二片紙上ニ記載ス  
 ルモノ、如キ報告ヲ作レ、  
 備最モ緊要ナル命令及ヒ報告ハ將校ヲシテ之ヲ傳達セ



シムルカ或ハ數通ヲ作り數多ノ道路ヨリ之ヲ傳達セシ  
 メ或ハ又二乃至三名ノ騎兵ヲシテ共ニ之ヲ傳達セシム  
 へシ大距離及ヒ夜間ニ在テハ將校ハ若干ノ歩兵ト共ニ  
 乘車シテ傳達セシムルヲ以テ大ニ利アリトス若シ傳達  
 者ノ携帶スルキ報告等ニシテ途次敵ノ之ヲ奪ヒ去ルカ  
 如キ恐レアル時ハ傳達者ニ報告ノ項目ヲ知ラシムルヲ  
 良トス傳達者ハ途次ニ於テ報告ノ項目ヲ他ノ司令部等  
 ニ告クルヲ緊要トスルヲ屢々之アリ如此キ場合は於テ  
 ハ豫以傳達者ニ途次之ヲ通報スヘキ司令部等ヲ指示ス  
 可シ命令及ヒ報告傳達ノ速度ハ左ノ規則ニ據ルヘシ  
 書簡袋ニ一個ノ十字アル時ハ速騎ト常騎ヲ混用シ(平均

六分時ニ一吉魯米突)二個ノ十字アル片ハ速騎ヲ用ヒ(平  
 均四分時ニ一吉魯米突)三個ノ十字アル片ハ馬力ノ堪ユ  
 ルニ應ジ成ルヘク迅速ナルヲ要ス又口演ヲ以テスル時  
 ト雖モ傳令騎兵ニ命スルニ並(十)急(十)至急(十)十ヲ告  
 クルモノトス  
 野戰電信ノ設ケナキ遠地ニ命令及ヒ報告ヲ送致スル  
 ハ遞騎線ヲ設ケルヲ必要ナリ少時間一時ノ目的ノ爲メ  
 ニハ若干騎ノ遞騎哨ヲ設ケルヲ以テ足レトス之カ爲  
 メ遞騎哨相互ノ距離ハ十吉羅米突ヲ超ヘサルモノトス  
 長時間交通ヲ保タントスル遞騎哨ニ在テハ下士一名兵  
 卒六名乃至十名ヲ以テ編組シ相互之間ニ十吉羅米突ヨ



大ナル距離ヲ存スヘシ敵地ニ在テ土民ノ動作疑ハシ  
 時ハ遑騎哨ノ危殆ヲ豫備スル爲メ特別ノ警戒法ヲ設  
 ケ人民ヲ恐赫シ或ハ人質ヲ取ルカ如シ哨所長ハ哨所ヲ  
 メ充分安全ナラシムルコトニ注意スルヲ要ス  
 高等司令部ニ呈出スル報告ハ大約左ノ如シ  
 月二十九日前第九時三十分

○某軍團高等司令部宛

第一報告

余ノ率ユル歩兵ノ先頭ハ「ボホウイツ」ニ到着ス  
 「ザムニツツ」ミソクウイツ及ヒ「ミシユロイウイツ」ハ

敵之ヲ占領セス敵情ニ關シテ見聞スル所ナシ余ハ  
 枝隊ノ本隊ヲ「ボホウイツ」ニ置キ前哨ヲ以テ「ボ  
 ホウイツ」ノ東北及ヒ東南ニ在ル丘阜ヲ占領セシメ  
 且ツ之レニ據リ敵ヲ防禦セントス

枝隊司令官 大佐

此ノ報告ニ受領者ノ姓名ヲ記載セステ單ニ司令部ニ  
 宛テ之ヲ送呈シタルハ其當ヲ得タルモノナリ何トナレ  
 ハ若シ受領者ノ姓名ヲ記載セハ受領者ノ現在セサルハ  
 當リ之ヲ搜索シ或ハ其販還ヲ待チ爲メニ報告ノ受領ヲ  
 遅緩スルコトハ屢々之アレハナリ故ニ總テ報告ハ受領者  
 ノ姓名ヲ記載セズシテ單ニ司令部或ハ司令官トノミ記



載スルヲ頁トス而シテ一日間ニ數多ノ報告ヲ同一ノ司令部ニ送致スル時ハ報告ニ番號ヲ附スヘシ之レ報告ノ紛失ヲ防カンカ爲メナリ、  
 此時高等司令部ヲ距ル數獨里ナル時ハ遞騎哨ヲ設ケテ以テ報告ヲ規定ノ場所ニ送致セサル可ラス  
 枝隊司令官ハ報告ヲ傳達シタル後ナリボホウイツニ於ケル舍營司令官トナリ舍營ノ部署ヲ定メシカ爲メニ直ニ之ニ赴ムクナラシ此ノ任務ハ之ヲ部下ノ一上長官ニ委托スルヲ得可シト雖モ現時ノ場合ニ在テハ否ラサルヲ良トス何トナレハ各大隊ハ逐次前哨ニ赴ムクカ爲メニ舍營司令官ヲシテ屢交換セシメサルヘカラサレハナ

リ  
 此ノ舍營司令官ノ外ニ舍營日直ノ將校(大部隊ニ在テハ上長官)及ヒ必要ナル時ハ巡察將校ヲ置クモノトス、舍營日直將校ハ舍營司令官ノ指示ニ從ヒ外衛兵及内部勤務ニ關スル方法ヲ規定スルヲ以テ其任務トス、蓋シ此將校ハ全衛兵ノ長官タルヲ以テ之ヲ配置シ之ニ教示ヲ與ヘ晝夜之ヲ視察スルノ責任アリ、此將校ヲ補助スル爲メ各步兵大隊騎兵聯隊砲兵大隊縱列部隊ヨリ各々士官一名ヲ各步兵中隊騎兵中隊砲兵中隊及ヒ縱列或ハ一地ニ駐在スル縱列部隊ヨリ下士一名ヲ部隊日直トシテ出スモトトス小ナル部隊ニ在テハ舍營日直ヲシテ部隊日直ヲ



兼キシムルコアリ

次ニX大佐ハ設營隊ニ各部隊ノ舍營スヘキ區域ヲ指示  
 ス。即チ村落ノ中央ニ在ル街道ノ交叉點ヨリ「ミンクウイ  
 ツ」及「プロスタウ」ニ通スル街道ノ農圃ニハ歩兵第二大隊  
 及ヒ砲兵中隊ノ砲車ニ属スル兵卒及ヒ馬匹ヲ宿營セシ  
 メ此交叉點ヨリ「チュルノウ」及「ラウシユウイツ」ノ方ニ通  
 スル街道ノ農圃ニハ銃兵大隊及ヒ工兵中隊ヲ宿營セシ  
 ム而シテ村落ノ前方ニ在ル前哨ハ敵兵ノ不意ノ攻撃ヲ蒙  
 ルルモ之ヲ退撃スルニ足ルヲ以テ内外衛兵ヲ配置スル  
 ハ概テ其ノ如クナルヘシ

歩兵第二大隊ハ内衛兵ヲ「ミンクウイツ」ニ通スル街道ノ

銃兵大隊  
ハ第三大隊  
ヲ指ス

東方出口附近ニ置キ一銃前哨ト「ミンクウイツ」及ヒ「プロ  
 スタウ」ニ通スル村落出口ニ各一複哨ト軍旗ノ在ル枝隊  
 司令官宿舍前ヨリ一歩哨ヲ設置シ銃兵大隊ハ内衛兵ヲ中  
 央十字路ニ置キ一銃前哨ト村落ノ南方及ヒ西方ノ両出  
 口ニ各一複哨ト村落ノ西方ニ車陣ヲ作ル行李ニ一歩哨  
 ヲ設置シ且ツ銃兵大隊ハ尙ホ夜間(晚第八時三十分ヨリ  
 朝第五時迄)「ラウシユウイツ」ニ通スル街道森林ノ南端附  
 近ニ外衛兵ヲ設置ス可シ此外衛兵ハ街道上ハ一査哨ヲ、  
 森林ノ東南隅ニ一複哨ヲ配置シ其他第二大隊ハ舍營日  
 直將校ヲ銃兵大隊ハ一名ノ巡察將校ヲ各部隊ハ部隊日  
 直將校及下士ヲ命スルモノトス



茲ニ最モ注意スヘキモノハ車輛ヲ以テ村内ノ街道ヲ閉鎖ス可ラサルコト是ナリ故ニ車輛ハ大行李ハ勿論小行李ト雖モ之ヲ村落西方出口ニ於テ車陣ヲ作ルヘキヲ命シタリ其他疑シキ人民ノ交通ヲ監視シ「ライヘンベルヒヨ」リ敵ニ關スル報告ヲ齎シ來ルヘキ間者ヲ設ク又敵團ノ村落ニ在テ其人ニ我カ軍隊ノ勤務ヲ秘シ且ツ誤聞ニヨリ軍隊ヲ無益ニ集合スルカ如キ「莫カラシメン」カ爲メ非常號音ニアラサレハ吹奏セシム可ラス

又枝隊司令官ハ村長ト給養ニ關スル協議ヲ爲スヘシ、豐饒ナル村落ニ在ル兵卒ハ五月二十九日ニ於テ舍主給養ヲ受クルモ決シテ障礙ナカルヘシ然レモ其他ノ日ニ在

テハ到底舍主ノ供饌ヲ受クル「困難ナル」ヘシ故ニ糧秣ハ糧食車及ヒ藪秣車ノ携帶シタル者ヨリ補給シ空虛トナリタル車輛ハ更ニ充填セラレテ間斷ナキヲ要ス

携行口糧ハ麵七百五十瓦或ハ乾包五百瓦生肉或ハ醃肉三百七十五瓦或ハ牛羊豚ノ蒸肉罐詰乾腸詰豕脂罐詰肉二百瓦其他米麥大麥粉百二十五瓦或ハ野菜二百五十瓦馬鈴薯千五百瓦又焙リタル珈琲二十五瓦或ハ茶三瓦砂糖十七瓦鹽二十五瓦ヲ加フ、戰中飼草分量ハ大麥六千瓦枯草千五百瓦飼藁千五百瓦トス

日用ノ家畜ハ豐饒ナル地方ニ於テ其不足ヲ感スル



一ナシ歩兵一大隊ハ牡牛二頭或ハ豕三頭或ハ犢牛  
 若クハ小羊十八頭騎兵一聯隊ハ牡牛一、三分一頭、或  
 ハ豕三頭或ハ犢牛若クハ小羊十二頭騎兵中隊若ク  
 ハ砲兵中隊ハ牡牛三分一、或ハ四分三、或ハ犢牛若ク  
 ハ小羊三頭ヲ要ス、不耗ノ地方ニ在テハ特ニ牛ハ滋  
 養分少ナキヲ以テ規定ノ頭數ヨリ其倍數ヲ要ス  
 又司令部ハ病室及ヒ禁錮所ノ設置ニ關シ注意セサルハ  
 カラス、  
 枝隊司令官ハ舍營司令官トナリテ上ノ如キ部署ヲ口演  
 シタル后ハ乘馬ヲテ前哨ヲ巡視シ同伴シタル工兵中隊  
 長ニ施行スヘキ作業ニ關スル指示ヲ與ヘサルヘカラス、

吾人ハ今ヤ前哨司令官カ自ラ部署ヲ定ムルノ狀況ヲ述  
 ヘント欲ス、却説標高九〇及ヒ一一〇ノ兩丘阜上ニハ步  
 兵ノ到着前既ニ騎哨ヲ配置シ「ミシキロ」ウイツ「ミシク  
 ウイツ」及ヒ「サムニツ」ニハ斥候ヲ派遣シタリ、此ノ部署ハ  
 能ク前方ノ地ヲ監視シ且ツ之ヲ搜索スルニ充分ナルヲ  
 以テ即チ此少數ナル兵員ノ保護ヲ得テ步兵大隊及ヒ騎  
 兵半中隊ハ晝間ハ前哨本隊トナリ兩丘阜ノ西方斜面ニ  
 位置シ得ヘシ然レモ此位置ハ「ミンクウイツ」ヨリ洞察セ  
 ラレサルカ如ク街道ノ側方ニ撰定シテ露營スヘシ、若シ  
 半大隊宛街道ノ兩側ニ露營セシムル時ハ一方ニ騎兵半  
 中隊ヲ附加シ各半大隊ハ内衛兵ノ外ニ不正ノ者ヲ抑留



スルカ爲メ一外衛兵ヲ置クテ以テ足レトス、丘阜ニ停止スル兩騎哨ノ兵員ハ騎兵三名ニシテ皆下馬ス可シ而シテ騎兵半中隊ハ敵地ニ在ル三村落ニ斥候ヲ派遣シ且ツ此ノ斥候ヲシテ該村落附近ノ地ヲ通視シ得ル迄前進セシム可シ、又枝隊司令官ハ前哨司令官ニ對シ夜間ニ於ケル前哨配置方法ヲ質問シ得可シ蓋シ夜間ノ位置ニ關シテハ種々ノ方法アル可シト雖モ獨立騎兵下士哨ヲツアマ河ニ架スル三橋梁ニ各一個宛配置シ且ツ外衛兵及ヒ小哨ノ二目的ヲ有スル小哨ヲ前哨本隊ノ露營ヲ距ル大約八百歩ノ所ニ配置シテ之ヲ圍繞セシムルハ最モ簡易ニシテ且ツ適當ナル部署タルヘン

此ノ衛兵ヲ配置スヘキ位置左ノ如シ、  
 標高一〇ノ丘阜東南斜面ニ第一小哨ヲ出シ是レヨリ二複哨ヲ配置ス第三小哨ハ「リボホウイツ」ノ東方出口ヨリ約千二百歩ノ距離ニテ之ヲ街道ニ置キ是レヨリ「ミンクウイツ」ニ通スル街道上ニ一查哨ヲ配置ス第三小哨ハ標高九〇ノ丘阜東北斜面ニ出シ是ヨリ二複哨ヲ配置ス第四哨ハ「リボホウイツ」ヨリ「プロスタウ」ニ通スル道路ニ一查哨ヲ配置スルモノトス此ノ各哨所ハ其兵力半小隊ニシテ二名ノ傳令騎兵ヲ有セシム、工兵中隊ハ第一着ノ作業トシテ此四個ノ小哨ノ爲メニ防禦用ノ塹壕ヲ設置シ敵兵前進シ來ル時ハ第四小哨ノミ射撃ヲ行フベシ、



之レ敵ヲシテ我カ配置法ヲ知ルコ能ハサラシメンカ爲  
 ナリ、前哨本隊ハ他ニ外衛兵ヲ配置スルヲ要セス唯標  
 高九〇及ヒ標高一〇ノ兩丘阜上ニ各下士一名及ヒ兵  
 卒三名ヨリ成ル所ノ歩兵監視哨ヲ配置スルヲ必要ナリ、  
 此ノ哨所ハ大約前哨本隊ト小哨線ノ中央ニ停止ス可シ  
 右ニ掲クル夜間ノ配置ヲ執ルハ晚第八時三十分ヨリ朝  
 第五時ニ至ルマテノ間トス

今此地形及戰況ハ前哨本隊前哨中隊及ヒ前哨騎兵ヲ編  
 成スヘキ原則ヲ遵奉スル能ハス、三個ヲ分レタル前哨本  
 隊ハ即チ前哨中隊ニ適合シ而シテ四中隊ハ各一小哨ヲ排  
 置セリ此小哨ハ其稱呼ヲ便ナラシメンカ爲メ固有中隊ノ

番號ヲ付ス可シ譬ヘハ第一及ヒ第二中隊ヲ街道ノ南方  
 ニ位置セシムルハ最右翼ニ配置シタル小哨ニ第一番  
 號ヲ付シ最左翼ニ配置シタル小哨ニ第四番號ヲ付スル  
 カ如シ但シ同中隊ヨリ出セル小哨及ヒ獨立下士哨又其  
 哨所或ハ步哨ハ右翼ヨリ順次ニ之ニ番號ヲ付スルヲ定  
 規トス、三橋梁ノ附近ニ在ル獨立騎兵下士哨ハ直接ニ前  
 哨司令官ニ報告スルモノナリト雖モ危險ナル事アルハ  
 ハ傳令騎兵ヲシテ之ヲ小哨若クハ歩兵中隊ニ通報セシ  
 ムヘシ又此ノ夜間ニ設置スル獨立騎兵下士哨ノ動作ハ  
 第一問題ニ於テ示シタルモノト異ニシテ各哨所ハ二名  
 ノ騎兵(乘馬シテ)ヨリ編成シタル一騎哨ヲ配置シ下士ハ



殘餘ノ兵卒ト共ニ其背后三百乃至四百歩ノ距離ニ於テ  
 下馬停止ス、而シテ「ミシユロウイツ」ノ前方ニ在ル此騎兵  
 哨所ハ村落ノ西方出口ヨリ數百歩ノ距離ニ一騎哨ヲ出  
 シ「ミンクウイツ」ノ前方ニ在ル哨所ハ橋梁ノ東方數百歩  
 ノ距離ニ一騎哨ヲ出シ下士ハ殘餘ノ兵卒ト共ニ橋梁附  
 近ニ停止シ又「ザムニツツ」ノ前方ニ在ル哨所ハ一騎哨  
 ヲ橋梁附近ニ停止セシムヘシ右等三個ノ獨立騎兵下士  
 哨ノ兵カラ各下士一名、騎兵六名ヨリ成ルモノトシ且ツ  
 四個ノ小哨及ヒ二個ニ分レタル前哨本隊ニ各二人ノ傳  
 令騎兵ヲ付スルモノトスル時ハ騎兵ハ夜間勤務ノ爲メ  
 ニ三十五名(大約一小隊)ヲ要スルモノトス、其他前哨ニ服

スル騎兵ハ「リボホウイツ」ニ於テ宿營シ得ヘシ之レカ爲  
 メ砲兵ノ撤去セル宿舍ヲ撰フハ最モ適當ナリ何トナレ  
 ハ砲兵ハ夜間「チユルナウ」ニ退却スレハナリ、  
 枝隊司令官ハ工兵中隊長ニ塹壕等ヲ設置スヘキ地點ヲ  
 指示シタル後再ヒ「リボホウイツ」ニ返還シタリ、  
 午後第五時命令受領者ニ口演シテ筆記セシメタル命令  
 ハ左ノ如シ

「リボホウイツ」ニ於テ千八百、  
 九日午后第五時、  
 年五月二十

枝隊命令

- 一 砲兵中隊ハ今晚第八時「チユルナウ」ニ到リ明朝



第五時再ヒ本日ノ如キ晝間位置ヲ取リ標高九〇ノ丘阜上ニ砲兵肩牆ヲ設クヘシ、

二 舍營ニ在ル兵卒ハ夜間服装ヲ脱シ得ヘシ「リボホウイツ」ニ於テハ各家屋内ニ一名ノ衛兵ヲ置キ且ツ點燈スヘシ、

三 前哨ハ明朝第十時ニ於テ第二大隊及ヒ騎兵半中隊ト交代シ「リボホウイツ」若クハ「チュルナウ」ニ舍營ヲ爲スヘシ、  
第一大隊ハ第二大隊ノ如ク村落衛兵ヲ設置シ舍營日直將校ヲ出ス可シ

枝隊司令官

X大佐

此ノ枝隊命令ハ尙ホ作戰命令ト爲シ得ヘシ何トナシハ該命令ノ趣意ヲ深ク究ムル時ハ作戰ニ關スル部署ヲ有スレハナリ、總テ他ノ部署内部勤務等ハ日々命令トシテ出スモノトス此ノ命令ハ即チ平時ノ日々命令ト同一ナリ、枝隊司令官ノ五月二十九日ノ晚所屬ノ高等司令部ヨリ開戦ヲ宣告セラレタル通報ヲ受ケタルモノト仮定セハ乃チ枝隊司令官ハ此通報ヲ携帶シタル傳達者ニ受領ノ旨ヲ記載シタル狀袋ト現狀ニ關スル報告ヲ携ヘ還ラシム可シ蓋シ此報告ハ「リボホウイツ」ノ前方ニハ變事ナシトノミ記載スルヲ以テ足レリトス  
其後枝隊司令官ハ前哨ニ在ル騎兵ノ一士官ヲ翌朝勉メ



テ早クライヘンベルヒノ方ニ斥候トシテ派遣ス可シ  
 此ノ斥候ハ五月三十日午后四時ニ次ノ如ク報告シタル  
 モノト仮定ス、曰ク敵ハ數個ノ歩兵大隊、騎兵中隊及ヒ砲  
 兵中隊ヲ率ヒテ午后第二時、ライヘンベルヒヲ發シ、ミン  
 クウイツニ向テ前進セリト―於是枝隊司令官ハ、リポホ  
 ウイツニ在ル軍隊ニ緊急集合ヲ命シ、尙此緊急集合ヲ傳  
 達シ且ツ筆記命令ヲ附與スル爲メ、砲兵喇叭手一名ヲ「チ  
 ユルナウ」ニ送ル可シ、而此命令ニハ「チユルナウ」ニ在ル軍  
 隊ハ、砲兵中隊ノ第二段列ヲ除キ其他ハ皆、リポホウイツ  
 ニ前進シ、第二段列ハ「チユルナウ」ノ東方出口ニ於テ停止  
 スヘキヲ記載ス可シ

砲兵中隊ノ第二段列ニ關スル部署ハ、砲兵中隊長ノ  
 責任ナリト雖、此場合ニ在テハ、枝隊司令官ヨリ  
 直ニ處置スルヲ良トス何トナレバ、枝隊退却スルニ  
 當テハ、一條道路アルノミ、此道路若シ、砲兵第二段列  
 ノ閉鎖セラレ、如キコアラバ、其困累知ルベキナリ  
 然ル後、枝隊司令官ハ、前哨大隊ヲシテ、標高九〇ノ丘阜ヲ  
 銃兵大隊ヲシテ、標高一〇〇ノ丘阜ヲ占領セシメ、第一大  
 隊及ヒ工兵中隊ハ、リポホウイツニ於ケル緊急集合所ニ  
 停止セシム可シ、而シテ、騎兵ノ三小隊ハ、敵ヲ搜索スル爲メ  
 「ミンクウイツ」ニ通スル、衢道ヲ前進シ、砲兵中隊ハ、砲兵陣  
 地ヲ占領シ、其前車ヲ繫架シ、大行李ハ「チユルナウ」ニ在ル



軍隊到着スルヤ直チニ二三龍騎兵ノ保護ヲ受ケテ「チユ  
 ルナウ」ノ西方出口ニ退却シ、小行李ノ車輛ハ一時輓馬ヲ  
 繫架シテ「リポホウイツ」ノ西方出口ニ停止ス可シ  
 午後第五時前方ニ派遣シタル龍騎兵三小隊ハ返還シ敵  
 ノ騎兵ハ「ツアマ」河ノ彼岸ニ在ル丘阜上ニ現出シ而シテ龍  
 騎兵ハ少ナクモ歩兵三大隊騎兵一中隊及ヒ砲兵一中隊  
 ノ兵力ヲ有スル敵ノ行進ニ遭遇シタルヲ報告シタル  
 ノト仮定ス可シ而シテ敵ハ午後第六時頃其歩兵ヲ以テ「ミ  
 シ」ク「クウイツ」ヲ占領セシメ敢テ攻撃ヲ行ハスト雖モ午後  
 第六時半頃「ハ」ミ「クウイツ」ノ兩側方ニ在ル丘阜及ヒ  
 該村落ノ西方出口ニ前哨ヲ配置シタルモノトス可シ

如斯狀況ナルモハ枝隊ハ晝間ニ於ケルヨリモ大ニ戦闘  
 準備ノ度ヲ高メサル可ラス因テ枝隊司令官ハ次ノ命令  
 ヲ筆記セシム可シ

「リポホウイツ」ノ東方ニ於テ千八百、〇、〇年五  
 月三十日午後第七時

枝隊命令

- 一 「ライヘンベルヒ」ヨリ諸兵種連合ノ敵軍隊ハ國  
 境ニ前進シ其前哨ヲ以テ「ミンクウイツ」及ヒ此  
 村落ノ北方及ヒ南方ニ在ル兩丘阜ヲ占領シタ  
 リ
- 二 第二大隊銃兵大隊及騎兵半中隊ハ前哨トナリ



砲兵中隊  
ヲ「チ」  
ニ「ナ」  
テ「リ」  
シ「セ」  
モ「セ」  
三「時」  
ヨ「リ」  
十「分」  
朝「時」  
僅「少」  
至「ル」  
ナ「ル」  
其「効」  
カ「ハ」  
然「カ」  
レ「ル」  
中「隊」  
長「之」  
不「可」  
ナ「ス」

B 少佐ハ第二大隊及ヒ龍騎兵一小隊ヲ率ヒテ  
標高九〇ノ丘阜西方斜面ニ露營シテ「ミンクウ  
イツ」ニ通スル街道ノ北方ヲ警戒シ敵攻撃スル  
時ハ該丘阜ヲ保守スヘシ〇少佐ハ銃兵大隊及  
ヒ龍騎兵一小隊ヲ率ヒテ標高一〇ノ丘阜西  
方斜面ニ露營シ「ミンクウイツ」ニ通スル街道並  
ニ該街道ノ南方ヲ警戒シ敵攻撃スル時ハ該丘  
阜ヲ保守スヘシ

三 第一大隊及ヒ工兵ハ舍營ニ就キ第一大隊ハ村  
落西方及南方ノ出口ヲ占領シ「カボホウイツ」ノ  
南方ニ在ル森林ノ南端ニ外衛兵ヲ配置スヘシ

四 前哨ニ任セサル騎兵半中隊ハ「リボホウイツ」ノ

西方部分ニ宿營スヘシ

五 砲兵中隊ノ戦闘部ハ晚第八時三十分迄其陣地

ニ停止シ后「リボホウイツ」ノ西方出口ニ在ル公

園ニ到リ兵卒及ヒ馬匹ハ「リボホウイツ」ノ西方

部分ニ於テ宿營セシムヘシ

六 砲兵中隊ノ第二段別ハ「チュルナウ」ニ於テ再ヒ

宿營シ大行李ハ「チュルナウ」ノ西方出口ニ於テ

車陣ヲ作り小行李ノ輓馬ハ再ヒ「リボホウイツ」

ニ進入スヘシ

七 「リボホウイツ」ニ宿營シタル兵卒ハ夜中常ニ服



装ヲ着シ各家屋ニ一名ノ衛兵ヲ置キ各家屋及  
ヒ厩舎ニ點燈シ馬匹ニ器具ヲ装シ且ツ鞍ヲ置  
クヘシ、

八 明朝午前第四時ニ至レハ再ヒ本日ノ如キ戰聞  
準備ヲ爲スヘシ、

枝隊司令官 X 大佐

右ニ陳述シタル前哨ノ兵力ハ規定ニ反シテ全歩兵ノ三  
分ノ二ヲ以テ之ニ任セリ是レ原則ニ背戻スルカ如シト  
雖モ決シテ否ラス蓋シ戰況ノ必迫スルヲ顧ミ且ツ全軍  
團ノ展開ハ前哨此陣地ヲ保守スルト否トニ關スルヲ  
慮ル時ハ此ノ配備タルヤ其ノ當ヲ失フタルモノト云フ

ヘカラス今ヤ敵ノ攻撃ヲ受クル瞬間ニ迫レリ實ニ敵ハ  
其陣地ヨリ射撃ヲ開始シ得可シ而シテ大佐ノ枝隊ハ方  
サニ軍團ノ前哨トナレルナリ  
三十日ノ夜ニ至リ向キニ取リタル前哨位置ハ多少變換  
セサルヘカラス即チ獨立騎兵下士哨ハ橋梁ノ附近ニ停  
止シ能ハサルヘシ何トナレハ該哨所ハ敵ニ接近スルコ  
ト甚シキヲ以テ敵ハ容易ニ之ヲ射撃シ得レハナリ然レモ  
「ツアマ」河ノ通過ハ其關係スル所甚タ大ナルヲ以テ此通  
過ヲ拒マン爲メニハ小哨ノ數ヲ増加セサルヘカラス此  
ノ目的ノ爲メ既ニ配置シタル第一及ヒ第二小哨ノ中間  
ト第三及ヒ第四小哨ノ中間ニ各一小哨ヲ増置シ而シテ



ンクウイツニ通スル街道ニ在ル小哨ノ兵力ハ之ヲ増加シテ一小隊ト爲シ其他騎兵斥候ハ敵ニ觸接スルニ至ルマテ之ヲ進マシメ標高一〇ノ丘阜后ニ停止スル銃兵大隊及標高九〇ノ丘阜后ニ停止スル第二大隊ハ各三個ノ小哨ヲ配置セサル可ラス

人若シ野外要務令ノ定則ヲ墨守シ步兵大隊ノ配置法ヲ變シ大隊ヨリ更ニ前哨中隊ヲ分派スルイアラシク是レ畢竟利益ナカル可シ何トナレハ如是スルハ前哨中隊ヨリ更ニ小哨ヲ分派スルヲ以テ前哨部隊ノ縱長ヲ大ニシ從テ前哨ノ正面ヲ擴張セサルニカラス然ルニ敵ヲ防禦スル位置ハ依然トシテ兩丘阜ニ在リ又人アリ枝隊司令官カ第一ノ報告ヲ受領シタル時直ニ敵ノ前進ニ對シ

我レヨリ之ヲ攻撃セハ一層良策ヲラント云フ者アラシク歎然レモ枝隊司令官全局面ノ戰況ニ着目シテ戰鬪スルノ決心ヲ有セザル可ラス殊ニ報告ニヨレハ敵ノ兵力ハ我ヨリモ優勢ナルニ於テハ此策ヲ採ル決シテ萬全ニ非サルナリ故ニ我枝隊ハ完全ニ準備シタル防禦陣地ヲ守リテ我カ劣勢ヲ補ヒ以テ優勢ナル敵ト相對スルヲ以テ良策ナラトス可シ

枝隊司令官ハ五月三十日ノ午后第四時ニ高等司令部ニ次ノ如キ報告ヲ送呈シタリ

「リボホウイツ」ニ於テ千八百、年五月三十



一日午后第四時

Ⅹ軍團ノ高等司令部宛

第一報告

將校斥候ノ報告ニ依レハ敵ハ數多ノ步兵大隊、騎兵  
 中隊及砲兵中隊ヲ率ヒテ今午后第二時「ライヘンベ  
 ルヒ」ヨリ「ミンクウイツ」ノ方ニ進行シタルモノ、如  
 シ余ハ「リポホウイツ」ノ東方ニ在ル丘阜ヲ占領ス、  
 枝隊司令官 Ⅹ大佐  
 此ノ報告ヲ次ノ遞騎哨ニ傳達スル龍騎兵ハ馬力ノ耐エ  
 度ニ應シ成ヘク迅速ニ騎行セサルヘカラス何トナレハ  
 高等司令部ハ此ノ報告ニ基ツキ嗣後ノ部署ヲ定ムレハ

ナリ

枝隊司令官ノ次ニ呈出スヘキ報告ハ左ノ如シ、

「リポホウイツ」ニ於テ千八百、〇、〇年五月三十

日午后第六時四十五分

Ⅹ軍團ノ高等司令部宛

第二報告

敵ノ騎兵ハ午后第五時頃「ツアマ」河ノ彼岸ニ在ル丘  
 阜上ニ現出シタリ、其ノ歩兵ハ午後第六時頃「ミンク  
 ウイツ」ヲ占領セリ、又敵ハ第六時三十分頃「ミンク  
 ウイツ」ノ兩側ニ在ル丘阜上及ヒ該村落ノ西方出口  
 ニ前哨ヲ配置シタリ、騎兵ノ報告ニヨレハ敵ハ少ナ



クトモ歩兵三大隊、騎兵一中隊及ヒ砲兵一中隊ノ兵  
カヲ有スルカ如シ、余ハ固ク「リボホウイツ」ノ東方ニ  
在ル丘阜ヲ占領ス

枝隊司令官 X大佐

枝隊司令官ハ晚第十時ニ至ルモ呈出シタル諸報告ノ受  
領証ヲ落手セサル時ハ報告ノ或ハ宛名司令部ニ達セサ  
ラントヲ恐ル、カ故ニ此ノ如キ場合ハ再ヒ同一ノ報告  
ヲ呈出シ且ツ之レニ次ノ如キ追加ヲ爲スヘキモノトス  
余ハ午後第四時及ヒ第六時四十五分ヲ以テ兩回報  
告シタリト雖モ今ニ至リ尙ホ其受領証及ヒ教示ヲ  
受ケス

此報告ノ結尾ニ「命令ヲ待ツ」ト云フ「」ヲ記ス可ラス何ト  
カレハ如斯スル所ハ總テ高等司令部ノ指揮ヲ受クルニ  
アラサレハX大佐ハ手ヲ拱シテ待チ自ラ處置ヲ爲ス能  
ハサル可シ又一方ヨリ論スレハ枝隊ハ敵ト近接スル「」  
甚シキヲ以テ能ク時機ニ適スル命令ヲ高等司令部ヨリ  
枝隊司令官ニ與フル「」困難ナリ

五月三十一日ハ枝隊司令官ノ爲メ最モ危険ナル日ナリ  
「ライヘンベルヒ」ノ東方六獨里ノ距離ニ在ル二萬ノ敵兵  
ニシテ五月二十九日ヲ以テ同地ヲ發セハ枝隊ハ五月三  
十一日ニハ非常ナル困難ヲ以テ退却セサルヘカラサル  
ノ状態ニ陥ラン、故ニ枝隊ハ此ノ日早朝ヨリ最モ嚴ナル



戦闘準備ヲ行フヲ良トス、若シ又タ敵兵五月三十一日ニ  
 優勢ノ兵力ヲ以テ我ヲ攻撃セサレハ枝隊ハ六月一日ニ  
 ハ其全兵力ヲ以テ我軍團ノ「チユルナウ」ヲ經テ到達シ來  
 ルマテ陣地ヲ固守セサル可ラス  
 上ニ掲ケタル動作ハ特別ノ地勢ト特別ノ戦況トニ應ジ  
 テ生スル者ニシテ學理ニヨル能ハサル場合ヲ示ス所ノ  
 引例トス可シX大佐ノ指揮スル全枝隊ハ狭少ナル區域  
 内ニ壓縮セラレタリ如此ハ稀ニ有ル所ノ事態トス抑モ  
 枝隊ハ連山ニヨリ國境ニヨリ壓縮セラレタルカ爲メ必  
 要ナル縦長ヲ缺キタリ故ニ此陣地ヲ維持スルニモ亦特  
 別ノ警戒法ヲ要シ遂ニ全枝隊ノ三分二ヲ前哨ニ配置ス

ルニ至レリ、枝隊ハ此ノ狀況ニ在テ最良ノ場合ニ於ケル  
 モ尙ホ三日間滞在セサルヘカラス、枝隊ニシテ此ノ任務  
 ニ堪ユル時ハ軍團ハ連山ヨリ出テ、開進シ以テ敵ト決  
 戦ヲ爲シ得ヘシト雖若シ不幸ニシテ枝隊カ敵ノ爲ニ連  
 山内ニ驅逐セラレ、時ハ軍團ハ開進スルヲ能ハサルノ  
 事ナラズ爾后敵ト決戦ヲ爲スニ當リ軍團ヲシテ敵ノ優  
 勢ナルヲ怖レテ畏縮セシムルニ至ラン故ニ如此キ小枝  
 隊ノ動作ト雖モ其全隊戦争ノ結果ニ影響ヲ及ホスヲ至  
 大ナリト謂ハサル可ラス

### 第三及第四問題

一般ノ戦況(第一掌圖參觀)



南軍師團ハ九月一日「ビシヨウスハイム」ニ於テ北軍師團  
ノ爲メニ攻撃セラレテ敗績シ「シエンステット」ヲ經テ退  
却セリ、北軍師團ハ之ヲ追躡シテ「シエンステット」ニ到ル

九月三日ノ午後ニ於ケル南軍師團ノ戦况、

南軍師團ハ「自國」ニ於テ「九月三日ノ午后「アウエ」河ノ  
背後ニ退キ其後衛ト輕歩兵聯隊、龍騎兵聯隊（第四中隊ヲ  
缺ク）砲兵第二十六聯隊第一大隊、及ヒ工兵中隊「ハレム  
「オングン」及ヒ「ウルフィンゲン」ノ地區ヲ占領シ、師團本隊  
ハ「アラメンケンゼ」ノ西南方ニ露營セリ敵ハ「シエンステ  
ット」ノ東北「獨里」ノ所ニ至ルマテ追躡シ來レド  
九月一日ノ戦鬪ニ於テ南軍師團諸大隊ハ平均兵卒七百

名ニ減シタリト雖モ九月三日ニハ大ニ志氣ヲ回復シタ  
ルヲ以テ南軍師團長ハ「アウエ」河孟ニ於テ敵ト決戦セシ  
ヲヲ欲セリ

軍隊

- 步兵第三（步兵第七十八聯隊（四大隊）
- 十七旅團（步兵第九十一聯隊（四大隊）
- 步兵第三（輕步兵第七十三聯隊（四大隊）
- 十八旅團（步兵第七十四聯隊（三大隊）
- 龍騎兵第十九聯隊、
- 野戰砲兵第二十六聯隊（六中隊）
- 野戰工兵第十大隊第一中隊、



師團架橋縱列

第一衛生枝隊

彈藥縱列及ヒ輜重

第一縱列部隊

第一乃至第四野戰病院

合計歩兵十五大隊、騎兵四中隊及ヒ砲兵六中隊ナリ

九月四日ノ朝ニ於ケル北軍師團ノ戰況

北軍師團ノ敵國ニ於テハ九月四日ノ朝シエンステツトノ東北一獨里ニアル露營ヲ發シ尙ホ遠ク敵ヲ追撃セシカ爲メ前進シタリ、前衛ノ歩兵尖兵「シエンステツト」ニ接近スルヤ獨立騎兵ヨリ敵兵ハ「ウルフインゲン」及ヒ「レ

ムリンゲン」ノ陣地ニ據リ堡壘ヲ築設シタルノ報告ヲ受ケタリ(歩兵一大隊ハ大約七百五十名トス)

軍隊

歩兵第三 歩兵第七十九聯隊(四大隊)

十九旅團 歩兵第八十二聯隊(四大隊)

歩兵第四 歩兵第六十七聯隊(四大隊)

十旅團 歩兵第七十七聯隊(四大隊)

獵兵第十大隊

龍騎兵第十六聯隊

野戰砲兵第十聯隊(六中隊)

野戰工兵第十大隊第二中隊



師團架橋縱列

第二衛生枝隊

彈藥縱列及ヒ輜重

第二縱列部隊

第五乃至第八野戰病院

合計歩兵十七大隊騎兵四中隊砲兵六中隊ナリ

天候

此日大氣乾燥シテ寒氣甚シク且ツ天大ニ曇ル

問題

攻撃及ヒ防禦ノ實施

掌圖ノ注意

ハ一フ  
○我一尺  
三分強  
ニ當ル

ウルフインゲンノ上方ニ在ル「アウエ」河ハ三、五乃至四、五  
フトスノ深サニシテ「シエンステット」ヨリ「ウルフインゲ  
ン」及ヒ「レムリンゲン」ニ通スル街道ニ大約高サ四十フ  
トノ黒楊柳ヲ植ヘタリ

説明及ヒ答解

第一及ヒ第二問題ハ只戦況ノミヲ示シタリト雖此ノ  
問題ニハ兩師團ノ戦況ニ先チ一般ノ戦況ヲ示セリ蓋シ  
一般戦況ナルモノハ二部隊ヲ對抗スル時ニ當リ示ス者  
トス若シ夫レ一部隊ヲシテ動作セシムル時ハ單ニ戦況  
ノミヲ示セハ足レリ而シテ一般戦況即チ一般方略ナルモ  
ノハ既ニ述ヘタル如ク一般ノ狀況ヲ示スモノニシテ之



ヲ簡單ニ作ルヲ常トス又一般戦況ハ兩部隊ニ通シテ規定スヘキ者ヲ記スルカ故ニ甲部隊ガ乙部隊ノ事ニ關シ知リ得可ラサルコトハ決シテ之ヲ記ス可ラス即チ兩部隊共ニ互ニ其任務命令及ヒ目的等ハ皆ナ之ヲ知ルヲ得ス何トナレハ戦争中如斯モノハ之ヲ知ルコト甚タ稀ナレハナリ敵ノ目的ハ只動作ニ依ツテ之ヲ察知シ得ルノミ夫ノ北軍若クハ南軍師團ノ戦況即チ特別方略ナルモノハ受クタル任務ヲ全フスルカ爲メ必要ナル事ヲ記載スル者ニシテ兩部隊ノ爲メニ規定シタルモノニシテ一般ノ戦況ニハ之ヲ記載スヘカラス

「レムリソングン」及ヒ「ウルフインゲン」ノ位置ハ堅固ナリ何

トナレハ

- 第一 正面ニ在ル障害物即チ「アウエ」河ハ橋梁ナク通過スルコト困難ナリ
- 第二 此ノ障害物ニハ最モ有効ナル射撃ヲ注クコトヲ得
- 第三 此ノ河ノ左岸ニ在ル地帯ハ大約千米突ノ開濶地ニシテ攻撃者ノ爲メ一ノ掩蔽物ヲ與ヘス
- 第四 右ノ如キ地形ナルヲ以テ陣地ノ正面ハ微弱ノ兵カヲ以テ固守シ得可ク丘阜ノ西南麓ニハ強大ナル豫備隊ヲ掩蔽シテ位置セシメ以テ毫モ困難ナク敵ノ爲メ脅迫セラレタル各



點ニ之ヲ送り得ベシ

陣地ノ不利トスル所ニアリ即チ

第一 遠望スルヲ困難ナルカ爲メ大距離ニ於ケル

砲兵ノ効力ハ甚タ僅少ナリ其所以次ノ如シ

(イ)「ウイントミウレン」及ヒ「ガルゲン」丘ノ森林ハ

其背後ニ在ル地ノ大部分ヲ掩蔽ス

(ロ) 此ノ両丘阜直後北方ノ地ハ死角ニ屬ス

(ハ)「シエシステット」ヨリ「ウルフインゲン」及ヒ「レ

ムリ」ニ通スル街道ノ楊柳並樹ハ丘阜

ヨリ「シエシステット」ノ西方及ヒ南方ニ在ル

地ノ展望ヲ妨ク

第二、敵ノ攻撃ヲ撃退シタル後「アウエ」河ヲ渡リ攻

戦ニ轉スルヲ非常ニ困難ナリ

此陣地ハ甚タ堅固ナリ戦路上ノ迂回ヲ行フ能ハサル時

ニシテ任務上不得已ニアラザレハ正面ヨリ之ヲ攻撃ス

ル不利ナルカ如シト雖モ又一方ヨリ之ヲ考フレハ現時

ノ戦況ニ在テ特ニ「ウルフインゲン」ヨリ「アウエ」河ノ上流

ハ甚シキ障害トナラサルヲ以テ之ヲ攻撃スルヲ敢テ結

果ナシト云フ可ラス况ンヤ北軍師團ノ志氣ハ甚タ盛ニ

シテ兵力亦タ優勢ナルニ於テタヤ

右ノ如ク發端ヲ叙シタル後予ハ南軍師團ニ關シテ聊カ

陳ル所アラント欲ス



南軍師團ハ充分ニ軍隊ノ志氣ヲ回復シタル以上ハ管ニ敵ノ前進ヲ妨クルヲ以テ満足セス反ツテ之ヲ邀撃スルコトヲ勉メサルヘカラス故ニ南軍師團ハ「アウエ」河ノ橋梁ヲ破壊セスシテ攻勢ニ轉スル爲メ却テ之ヲ存シ尙ホ要スル場合ニハ適當ノ材料ヲ準備シ置カサルヘカラス而メ南軍師團ハ防禦陣地ヲ擴張スヘカラス是レ敵ヲシテ南軍師團ハ全力ヲ舉ケテ「アウエ」河后ニ戰鬪スルノ企望アルコトヲ知ラシメス單ニ一後衛ヲ配備ストノミ思ハシメシカ爲メナリ故ニ南軍師團ハ只兩村落ノ北縁ニ防禦陣地ヲ占メ二橋梁ノ背后ニ於テ厚キ断面ノ散兵濠ヲ設置スルヲ良トス此ノ如ク陣地ヲ堅固ニスル時ハ北軍ノ全

師團ヲ以テスト雖モ其正面攻撃ニ對シテハ敢テ恐ルニ足ラサル可シ况ニヤ北軍師團ハ其砲兵ヲシテ戰鬪準備ヲ爲サシムルニ適當ナル位地ヲ有セサルニ於テヤ即チ「ガムゲン」及ヒ「グイン」ド「ミユレン」ノ兩丘阜ハ敵ノ砲兵ヲシテ掩蔽シツ、大約一千米突ニ至ルマテ我ニ接近セシムルノ便アリト雖モ此丘阜東北斜面ニ陣地ヲ占ムルハ假令間接射ヲ行フモ「アウエ」河ノ橋梁ニ對シ縱射スルコト能ハサルヲ以テ必ス兩丘阜ノ頂上ニ登ラサルヘカラス彼レ若シ頂上ニ登レハ南軍師團ノ歩兵射撃ヲ受クルニ至ルヘシ是レ頂上ハ歩兵ノ射撃界内ニ在レハナリ若シ又北軍ノ砲兵ニシテ兩丘阜ノ中間ニ位置シ波狀



地ノ頂上ヨリ大約一千五百米突ノ所ニ砲列ヲ布カント  
 スル時ハ全ク掩蔽物ナキカ爲メ不幸ナル砲兵戦闘ヲ行  
 ヲニ至ルヘシ且如此大距離ヲ取リテ丘阜間ニ砲列ヲ布  
 ケハ両森林ノ爲メ大ニ射撃界ヲ狭メラルヘシ或ハ北  
 軍ノ砲兵ヲシテ「ガルゲン」丘阜ノ東北ニ在ル開濶地ニ射  
 撃位置ヲ取ラシムレハ遙ニ前者ニ優ルカ如シト雖是  
 又南軍師團ノ砲兵ヲ射撃スル甚ク難ク加之如斯スル片  
 ハ北軍師團ノ歩兵本攻撃ハ南軍師團ノ有効ナル歩兵及  
 砲兵ノ兩射撃下ニ於テ「レムリンゲン」ニ向ヒ之ヲ實施セ  
 ルウカラス故ニ北軍師團ハ「シエンステット」ヨリ「ウルフ  
 エンゲン」及ヒ「レムリンゲン」ニ通スル街道ヲ守備セシム

ル爲メ歩兵枝隊ヲ「ガルゲン」及ヒ「ウインドミルレン」ノ兩  
 丘阜ニ派遣シ其本攻撃ハ「ウインドミユレン」丘阜ノ北方  
 ヨリ之ヲ行フテラフ如スル時ハ北軍師團ノ爲メ「カウ  
 エ」河ハ僅少ナル障害物タルニ過キサル可シ然ル時ハ北  
 軍師團ノ砲兵ハ恐クハ「ウイントミユレン」阜岡ノ北部ニ  
 砲列ヲ布クナラン上ノ如キ判斷ヲ下シ南軍師團ノ九月  
 四日ノ朝ニ取ルヘキ準備陣地ハ之ニ應スルカ如クナサ  
 ヲル可ラス即チ其陣地ノ配置次々如シ  
 後衛タル輕歩兵聯隊ノ二大隊ハ「レムリンゲン」ノ方ニ到  
 リ該村落ヲ占領シ敵ノ「シエンステット」ヲ經過シタル報  
 告ヲ受クルヤ直チニ「レムリンゲン」ノ前方ニ設置シタル



散兵濠ヲ占領シ他ノ二大隊ハ「ウルフィンゲン」ニ於テ適當ニ動作ス可シ、而シテ騎兵(三中隊)ハ敵ト觸接ヲ維持シ敵ヨリ脅迫ヲ受クルニ至レハ直ニ「ウルフィンゲン」或ハ「アウエ」河ノ上流ヲ經テ退却シ我左翼ニ駐止ス可シ又砲兵大隊ノ中砲兵第一中隊ハ「レムリンドン」ヨリ「シェンステ」トニ通スル街道ノ東方ヲ行進スル敵ヲ射撃セシカ爲メ「レムリンドン」ノ南方(第三掌圖)ノ「a」ニ於テ「c」ニ繋駕ノ儘停止シ砲兵第二中隊ハ「ウインドミュレン」丘阜ヨリ「ガルダ」ノ丘阜間ニ現出スル目標ヲ射撃セシカ爲メ、標高六九ノ山背ニ砲列ヲ布キ、工兵中隊ハ「ウルフィンゲン」及ヒ「レムリンドン」村ノ北端ニ防禦工事ヲ施シ尙ホ橋梁ノ附近

ニ散兵濠ヲ設置シ且ツ上ニ示シタル「ウルフィンゲン」以北ノ上流ニ於テ通路ヲ設備シタル後「ウルフィンゲン」ノ西南ニ在ル本隊ノ集合所ニ至ルヘシ(第三掌圖)ノ「b」ニ於テ本隊タル步兵第七十四聯隊ハ「レムリンドン」ノ西南(圖上)ニ赴キ必要ナル時ハ該村落及其周邊ヲ占領シ或ハ敵「ウインドミュレン」丘ノ北方ヨリ攻撃シ來ラハ師團長ノ預備トシテ西北ノ方位ニ行進シ得ルノ準備ヲ爲シアルヘシ步兵第三十七旅團ハ「ウルフィンゲン」ノ西南方ニ砲兵四中隊ハ其右方ニ工兵中隊ハ其背后ニ集合スヘシ本隊ニ殘留セル騎兵第四中隊ハ所要ノ傳令騎兵ヲ交附シタル后「ウルフィンゲン」ノ北方ニ進ミ龍騎兵聯隊ノ三



中隊ニ合シ以テ陣地左翼ノ搜索及警戒ニ任ス可シ師團  
 架橋縱列及ヒ衛生杖隊ハ一時「ブランケンゼ」ノ西南本  
 隊ノ露營地ニ駐リ大行李ハ退却シ後方ニ在ル砲兵彈藥  
 縱列及ヒ二個ノ野戰病院ハ之ヲ前進セシム可シ  
 更ニ轉シテ北軍師團ニ關シ陳フル所アラント欲ス  
 北軍師團ハ「シエンステット」ニ向テ前進スル爲メ一個ノ  
 道路ヲ使用スルルハ次ノ軍隊區分ヲ爲スヘシ  
 獨立騎兵、A 大佐  
 龍騎兵第十六聯隊(騎兵半中隊ヲ缺ク)  
 前衛、B 少將  
 步兵第六十七聯隊

- 獵兵第十大隊
- 龍騎兵第六十七聯隊ノ一小隊
- 野戰砲兵第十聯隊第一大隊
- 工兵中隊
- 師團架橋縱列
- 衛生杖隊ノ一小隊
- 本隊
- 步兵第七十七聯隊
- 步兵第三十九旅團
- 龍騎兵第十六聯隊ノ一小隊
- 野戰砲兵第十聯隊第二大隊



## 衛生枝隊ノ一小隊

獨立騎兵ハ敵ト觸接ヲ維持スルヲ以テ其任ト爲シ其兵力ハ動作ノ如何ニ因テ之ヲ區分シ其一部ハ街道ヲ他ノ一部ハ街道ノ側方ヲ行進セシム可シ

前衛ハ獵兵大隊、龍騎兵半小隊及ヒ工兵一枝隊ヲ以テ組織シタル前兵ヲ出シ前衛本隊ハ密集シテ之ニ躡從シ其砲兵ハ步兵第一大隊ノ背后ニ進ムヘシ、本隊ハ前衛ヨリ大約一吉羅米突ノ距離ヲ取リ師團長ノ麾下ニ屬スル龍騎兵ヲ除キ步兵第七十七聯隊ヲ先頭トシ砲兵聯隊ノ第二大隊之ニ次キ大行李ハ本隊ノ後尾ヨリ大距離ヲ間シ又其後方ニ縱列及ヒ輜重之ニ跟隨スヘシ

步兵一大隊ノ兵員七百五十人アルモノトスル時ハ北軍師團ノ行軍長徑ハ殆ソト十吉羅米突餘ノ距離ヲ有スヘキヲ以テ師團ノ經過時間ハ尖兵先頭ヨリ後尾ニ至ルマテ大約二時間ヲ要スヘシ、抑迅速ニ兵力ヲ展開スルハ戰術上最モ價值アル方法ナルヲ以テ之ヲ爲シ得ル時ハ勉メテ多數ノ並行道路ヲ利用シ以テ行軍長徑ヲ減少スルニテ計ラサルヘカテス、抑本例ノ如ク敵ノ備アル陣地ニ對シテ展開スルニハ一道ニ由ルモ單ニ時間ヲ消費スルニ過キスト雖モ遭遇戰鬪ニ在テハ否ラス迅カニ展開スル部隊ハ即チ其兵數ノ多キト同一ノ價值ヲ有スルモノナルヲ以テ勉メテ展開ヲ迅速ナラシメサル可ラス



本隊ノ先頭ニ在ル師團長ハ獨立騎兵ノ報告ニヨリ敵ウ  
 ルフオンゲン及ヒレムリシゲンニ陣地ヲ占メ且ツ茲ニ  
 築堡シ在ルヲ知ルヤ直チニ現地ヲ目撃シテ地圖ノ不足  
 ヲ補ハシカ爲メシエンステツトヨリ丘阜ニ進ミ然ル后  
 單身大約半獨里ノ距離ニ在ル前衛尖兵ノ處ニ返還ス可  
 シ(尖兵停止スル時若シ前衛行進スル時ハ師團長ハ返還  
 セサルモシエンステツトヨリアウエ河ニ通スル兩街道  
 ノ一ニ於テ前衛ノ尖兵ト遭遇スルナラン茲ニ一疑問ア  
 リ即チ獨立騎兵ヨリ實見シタル敵情ノ報告ヲ受ケタル  
 前衛司令官ハ如何ナル處置ヲ爲スヘキ乎一般ニ前衛ハ  
 敵ノ準備シタル陣地ニ對ヒ全砲兵ニヨリ攻撃ノ準備ヲ

爲スコナク且ツ本隊ノ開進ヲ待ツコナク之ヲ攻撃セン  
 トスルハ過失ナリ前衛司令官此ノ過失ナキ者トスルハ  
 ハ歩兵ニ一時ウインドミユレン「ガルゲン」ノ兩丘阜ヲ占  
 領スヘキ任務ヲ與ヘ之ヲ該丘阜ニ向テ派遣スルカ或ハ  
 前衛ニシエンステツトニ開進スルノ令ヲ下スカ二者其  
 一ヲ執ル可シ吾人ハ此ノ二者ノ中其終ノモノヲ探ルナ  
 ラン。

師團長ハシエンステツトノ住民ヨリアウエ河要害ノ景  
 況如何ヲ聞キ得ルナラン而シテ敵ノ取リタル陣地ハガ  
 ルゲン及ヒウインドミユレンノ兩丘阜ニ繁茂スル森林  
 ニヨリ其大部分ヲ通視シ能ハサラシム此兩丘阜ハ本街



道ノ附近ニ在リテ本攻撃ハ孰レヨリ實施スルモ北軍師團ノ先ツ固ク之ヲ占領セサルヘカラサルヲ以テ師團長ノ第一ニ決定スル所ハ前衛ヲシテ乃チ「ガルゲン」「ウイソド」「ミユレン」ノ兩丘阜ヲ占領セシメ本隊ヲ「シエンステット」ニ開進セシムルニアル可シ此ノ間ニ於テ師團長ハ騎兵ノ保護ニ依ツテ陣地ヲ目撃シ然ル后師團長ハ次ノ命令ヲ下スナラン、

龍騎兵聯隊ハ尙敵ノ陣地ヲ視察シ特ニ「ウルフィンゲン」ヨリ上流ニ於ケル「アウエ」河ノ通過如何ヲ探知スヘシ

前衛ハ歩兵二大隊ヲ以テ「ガルゲン」「丘阜」ヲ占領セシメ殘餘

隊ヲ以テ「ウイソド」「ミユレン」丘阜ヲ占領セシメ殘餘

ハ此所ニ位置スヘシ

本隊ハ「シゾエンステット」ノ北方ニ準備陣地ヲ取ルヘシ

大行李ハ停止スヘシ

砲兵彈藥縱列及ヒ野戰病院ハ「シエンステット」ノ北方出口ニ前進スヘシ

此ノ命令ハ直チニ各部司令官ニ口達スルヲ能ハサルヲ以テ參謀將校ヲシテ之ヲ報告紙ニ記載セシメ以テ之ヲ傳達セサルヘカラス

前衛歩兵ハ上文記載スル所ノ陣地ニ向テ行進スルニ敵



眼ニ對シテ其大部ヲ掩匿スルコトヲ得此間龍騎兵聯隊及  
 ヒ師團長ハ偵察ヲ行ヒ正面ヨリ敵ノ地陣ヲ攻撃スルモ  
 到底好結果ヲ得ルコト能ハサルヲ知ル可シ故ニ之ヲ攻撃  
 セントスル時ハ前衛歩兵ヲシテ敵ノ正面ニ對シテ固ク  
 陣地ヲ占領セシメ本隊ヲシテシエンステットヨリウル  
 フインゲンニ通スル道路ノ北方ニテウインドミュレンノ丘  
 阜ノ北方ニ進マシメ然ル后ウルフインゲンノ以北ニ於  
 テアウエ河ヲ渡過セシムルヲ要ス可シ是カ爲メ必要ナ  
 ル時ハ橋梁ヲ架設セサル可ラス師團長ハ次ノ命令ヲ與  
 ルナラン

砲兵聯隊ハウインドミュレンノ丘阜ノ北部ニ前進シ

テ陣地ヲ占メウルフインゲン及該村落以北ニ現出  
 スル目標ヲ射撃スヘシ  
 前衛歩兵ハ「ガルゲン」及ヒ「ウイントミュレン」ノ兩丘  
 阜ニ於テ持久戰ヲ行フヘシ  
 歩兵第三十九旅團ハ工兵中隊ト共ニ「シエンステット」  
 ヲ發シ「ウルフインゲン」ノ街道及「ウインドミュレン」  
 ノ丘阜ヲ左ニシテ「ウルフインゲン」ヨリ上流ノ「アウ  
 エ」河ニ向ツテ前進シ之ヲ渡過スルヲ勉ムヘシ  
 歩兵第七十七聯隊ハ歩兵第三十九旅團ノ右翼后ニ  
 躡從シテ余カ指揮ヲ受クヘシ  
 龍騎兵聯隊ハ最外右翼ニ於テ攻撃ヲ行フヘシ



衛生枝隊ハ繙帶所ヲ設置センカ爲メ歩兵第七十七  
聯隊ニ躡從スヘシ

此命令ハ成ル可ク直ニ之ヲ各司令官ニ口達スルヲ要ス  
ル者ナレモ各司令官遠隔セル所ハ或ハ副官ヲシテ之ヲ  
傳達セシメ或ハ傳令騎兵ヲシテ筆記命令ヲ通達セシム  
ヘシ抑攻撃及ヒ防禦ノ結局ハ砲兵戰鬥ノ如何ニ因ツ  
テ定マルモノニシテ砲兵戰鬥ハ最初ノ砲列布設及ヒ其  
射撃ニ關スルモノナリ若シ夫レ北軍師團ノ砲兵ニシテ  
敵ノ監視ヲ脱シテ「グイン」ドミエ「丘」ニ到リ前車ヲ解  
ク「」ヲ得ハ實ニ敵ニ先チ有利ナル陣地ヲ占領スルカ故  
ニ南軍師團ハ戰鬥中恢復スル「」能ハザル不利ノ情勢ニ

陷ルモノト謂サル可ラス何トナレハ南軍師團ノ砲兵ハ  
北軍師團砲兵ノ射撃下ニ於テ砲列ヲ布カサル可ラスシ  
テ其陣地ハ「ウルフインゲン」ノ西北ニ在リテ掩蔽ナク尙  
ホ且ツ四中隊ノ寡ヲ以テ六中隊ノ衆ニ對抗セサルヘカ  
ラサレバナリ夫ノ南軍師團ノ標高六九ノ山上ニ配置シ  
タル砲兵一中隊ハ直チニ北軍師團ノ砲兵射撃ニ應射シ  
且ツ其側面ヲ射撃シ距離亦大約千九百米突ニシテ最モ  
有効ナリト雖モ一中隊ノ砲兵北軍師團ノ六中隊ノ砲兵  
ニ對スル難ク而モ「ウルフインゲン」ノ西南ニ於テ戰鬥準  
備ヲナシ停止スル砲兵四中隊ヲシテ直チニ砲列ヲ布カ  
シメ且ツ「レムリンゲン」ノ南方ニ停止スル砲兵中隊ヲ招



キ以テ敵ト其砲數ヲ相等シカラシメニハ之カ爲メ若干ノ時間ヲ要ス即チ北軍師團ノ勝利ニ歸ス然レモリングン」ヨリ招致スル砲兵中隊ハ標高六九ノ山上ニ砲列ヲ布クテ適當ナルヲ以テ茲ニ之ヲ位置セシメ即チ此ノ砲兵二中隊ハ北軍師團砲兵中隊カ「ウルフィンゲン」ノ西北ニ在ル南軍師團砲兵四中隊ニ對シ射撃スルニ當リ北軍師團砲兵ノ側面ヲ射撃スルニ至ラバ彼我漸ク其力ヲ平均スルニ至ル可シ即チ「ウルフィンゲン」ノ西北ニ在ル南軍師團ノ砲兵四中隊ハ掩蔽セスシテ低地ヨリ山上ニ向ツテ射撃シ確實ニ其効力ヲ監視スルヲ能ハザルモ側面射撃ヲ以テ之ヲ償フヲ得殊ニ南軍師團其騎兵ヲ放

チ迅速ニ北軍師團本隊ノ「ウルフィンゲン」ヨリ「シエンス」テット」ニ通スル街道ノ西方ニ來ルヲ察知シテ以テ北軍師團ノ砲兵中隊未タ其砲列ヲ布設セサルニ先タチ我砲兵ノ全數ヲ陣地ノ左翼ニ配備スルモノト仮定スル時ハ彼我ノ砲兵其數相等シキニ於テハ南軍師團砲兵ハ優勢ナル位置ヲ占ムヘキナリ則チ知ル彼我師團砲兵ノ最初ニ行フ動作ハ大ニ全戦闘ノ結果ニ關係スルモノナルヲ然レモ砲兵ノ戰爭ハ教科書ニ示スカ如ク常ニ甲砲兵ハ乙砲兵ヨリモ非常ニ優勢ナル結果ヲ以テ終ルカ如キモノニアラス故ニ彼我砲兵ノ勢力殆ント相等シキ時ハ互ニ優劣ナク長時間空シク射撃ヲ爲シ唯彼我ノ損失ニ因



ツテ射撃ノ緩慢ヲ生スルノミ、然ラハ則チ彼我共ニ歩兵時攻撃ハ砲兵戰ノ結局ヲ待チ然ル後行フ者ニアラサル砲ベシト步兵ハ縱令ヒ砲兵ノ猶ホ未タ効力ヲ奏セサルト雖モ屢々攻撃ヲ行ハサルヘカラス、然リ步兵ハ敵ノ兵射撃優烈ナリト雖モ常ニ攻撃ヲ行ハサル可ラス

砲兵戰爭ノ結果ハ豫メ之ヲ確定シ得ヘキモノニアラス即チ戰此鬪ノ結果ハ算術的ノ答解ヲ得可キ者ミアラサルヲ以テ步兵戰鬪ノ結果モ亦之ヲ豫算スル能ハサルナリ即チ北軍師團ハ其兵員及ヒ志氣ニ於テ南軍師團ニ優ルモノトシ其本攻撃ヲ實施スル爲メ「ガルゲン」丘ヲ占領シタル步兵二大隊ヲ除キ各七百五十名ヨリ成ル十五

大隊即チ一萬千二百五十人ヲ使用シ南軍師團ハ各七百名ヨリ成ル步兵十三大隊即チ千九百人ヲ使用スルヲ以テ統計ニ依レハ南軍師團ノ敗北スルヤ疑ヒナキカ如シト雖モ北軍師團ハ敵ノ射撃下ニ在テ「アウエ」河ノ障害ヲ超過セサル可サルノ不利アルヲ以テ南軍師團敢テ勝算ナシト謂フ可ラス又凡ソ中隊或ハ大隊ノ如キハ皆全一ノ價值ヲ有スル者ニアラス即チ各人ハ各個ノ意思ヲ抱キ其間幾多少差異アリ故ニ其團結シタル形狀ニモ亦多少ノ相違ナカル可ラス獨リ衆寡ヲ以テ其價值ヲ軒輕ス可キモノニ非ラサルナリ况ンヤ其團結モ亦之ヲ指揮スル者ノ如何ニ從ツテ其價值ヲ増減シ得ルニ於テヲヤ



且ツ各中隊カ敵ノ射撃界内ヲ行進シ或ハ互ニ相輔クル方法及其銃ノ價值ヲ顯シ得ル手段ノ如キハ宜シク之ヲ顧慮セサルヘカラス南軍師團ニシテ方法宜ヲ得ル時ハ北軍師團ト相匹敵スル敢テ難キニアラス夫レ然リ而シテ南軍師團敵ノ軍隊我ヨリ多數ナルヲ知ルヤ輒チ戦闘ヲ避クルカ如キアラハ之レヲ是レ過失ト云ハサル可ラス戦闘中ハ敵ノ兵力我レニ優ル一乃至二大隊タリトモ敢テ之ヲ恐レスシテ宜シク只之ヲ攻撃スルヲ勉メサルヘカラス

第三掌圖ハ兩師團ノ最初ノ展開ヲ示セリ

第五問題

戦況(參謀圖「グーベン」ノ部參觀)

「ゴットゲイメ」ノ西南方「ドレヅカウ」自國ニ於テ一ニ集合中ナル南軍團ハ「クロスセン」ニ在ル敵兵ヲ擊退セシカ爲メ「グーベン」ヲ經前進セントス乃チ南軍團ハ次ニ記スルカ如キ一杖隊ヲ編成シ之ニ負ハシムルニ「グーベン」ヲ占領シ軍團本隊ノ爲メ該所ニ在ル「ナイセル」河ノ渡過及「ゴットゲイメ」ヨリ「グーベン」ニ通スル鉄道ノ連絡ヲ確實ナラシムルノ任務ヲ以テセリ

軍隊

歩兵(重歩兵第十二聯隊(三大隊))

第十(歩兵第五十二聯隊(四大隊))

「ク」  
「セ」  
「グ」  
「ン」  
「北」  
「吉」  
「カ」  
「コ」  
「ア」  
「ノ」  
「四」  
「在」

「ク」  
「セ」  
「グ」  
「ン」  
「北」  
「吉」  
「カ」  
「コ」  
「ア」  
「ノ」  
「四」  
「在」



旅團獵兵第三大隊

龍騎兵第十二聯隊第四中隊ヲ缺ク

野戰砲兵第十八聯隊ノ第一大隊

師團架橋縱列

第一衛生枝隊

七月十日大暑ヲ犯シテ施行シタル三獨里ノ行軍ノ後即  
午後第二時枝隊ノ步兵尖兵「パイツ」ニ達スルヤ本隊ニ在  
テ行進スル枝隊司令官ハ獨立騎兵ヨリ左ノ報告ヲ得タ  
リ但シ此騎兵ハ三中隊半ノ兵力ヲ以テ編成シ「タウエル」  
及ヒ「ヤエ」ニシユワルデニ前進シ該所ヨリ「グーベン」方位  
ニ斥候ヲ派遣スヘキ命令ヲ受ケタル者ナリ

「タウエル」ニ於テ千八百、年七月十日午後第

一時三十五分

步兵第十旅團長宛

第一報告

午前第九時以來騎兵一中隊半ヲ「タウエル」ニ同一中  
隊ヲ「ヤエ」ニシユワルデニ置キ此兩所ヨリ各一將校  
斥候ヲ「グーベン」方位ニ派遣セリ此ノ斥候ハ「センク  
ン」デ「ベルン」及ヒ「カル」テン「ボルン」ニ於テ敵ノ輕騎  
兵斥候ト衝突シ而シテ「グーベン」ノ西方ニ於テ敵ノ  
步兵小哨ノ爲メ拒止セラレタリ逃走セル數多ノ「グ  
ーベン」住民ノ陳述ニ依レハ敵ハ步兵數大隊騎兵若



千及ヒ砲數門ヨリ成リ午前第十時頃ニ東北ノ方向  
ヨリ「グーベン」ニ進入シタルモノナリ  
余ハ晩迄敵ト觸接ヲ維持スル所ノ斥候ヲ派遣ス可  
シ

獨立騎兵司令官 A 大佐

問題

枝隊司令官ノ目的及ヒ部署

説明及ヒ答解

獨立軍隊ノ長タルモノ毫無疑ナク明瞭ニ戰況ヲ知悉シ  
得ル「ハ實戰ニ於テ太々難シトスル所ナリ此戰況不明  
ナル時ニ於テ正當ナル決定ヲ爲スハ蓋シ軍事上ノ伎倆

ナリ然リ實戰ニ在テハ確實ナル手段ヲ定ムルニ必要ナ  
ル報告ヲ缺ク之ニ由ツテ之ヲ觀レハ戰爭ハ一ノ技術ナ  
枝隊司令官ハ目下ノ戰況ヲ知ル「明瞭ナラス即チ敵ノ  
狀況ハ勿論我高等司令部ノ目的スヲモ之ヲ知ル「能ハ  
スシテ軍團本隊ハ何時「バイツ」ヲ經テ「グーベン」ノ方ニ行  
進スルヤ是亦知ラサルナリ否高等司令部ト雖モ恐クハ  
未タ自ラ決定スル所ナカル可シ高等司令部ハ實ニ最高  
等司令部ヨリ只「グーベン」ニ於ケル「ナイセー」河ノ渡過ヲ  
確實ナラシメ兼テ該所ニ在ル鍊道廳ヲ警戒スヘキノ訓  
令ヲ受ケタルノミ



枝隊司令官ハ報告ヲ受領シタル後直ニ自ラ決行セルヘ  
 カラサル事件アリ即チ報告騎兵ヲ返還シ軍隊ニ命令ヲ  
 與フル是ナリ—現在ノ情况ハ軍隊既ニ長途ノ行軍ヲ行  
 ヒ敵ハ尙ホ遠ク一日行程外ニ在リ故ニ十月十日ニハ最  
 早大隊ヲニ計画スヘキ者ナカル可シ然ラハ則チ目下軍  
 シテ休憩ニ就カシムルハ實ニ適當ノ事ナリトス然レモ  
 枝隊司令官ハ直チニ宿泊ノ方法ヲ規定スルヲ難ク殊ニ  
 氣候炎熱ナルヲ以テ無益ニ軍隊ヲ行動セシムルカ如キ  
 ヲヲ避ケンガ爲メ能ク宿泊ノ方法ヲ確定スル間兵卒ハ  
 休止ヲ爲シ志氣ヲ爽快ナラシムルノ時機ヲ得セシムヘ  
 シ此休憩間ヲ利用シテ枝隊司令官ハ命令ヲ授與ス可シ

之レカ爲メ命令受領者ヲ召集ス抑モ敵ヲ距ル遠大ナル  
 時ハ常ニ舍營ヲ爲シ得可キヲ以テ枝隊ハ舍營ヲ爲スニ  
 決シ而シテ「タクエ」及ヒ「ヤエ」ニシテ「マ」ニ步兵ヲ宿泊  
 セシメ騎兵ヲシテ夜間其村落ヲ警戒スルノ勞ヲ省ク可  
 シ而シテ此線以外ハ距離甚大ナルヲ以テ步兵ヲ宿泊セ  
 シムヘカラズ其他「プライ」ツク「ツル」ノウ「ドレ」ノウ及  
 ヒ「パイ」ツクハ之ヲ占領シ得何レノ軍隊ヲ何レノ村落ニ派  
 遣スヘキカハ當時枝隊ノ爲セル軍隊區分及ヒ行軍序列  
 ニ依ツテ之ヲ定ム可シ即チ前方ニ在ル軍隊ハ前方ニ在  
 ル村落ニ在ル如ク定ムルモノトス、  
 今枝隊ノ軍隊區分ヲ左ノ如ク仮定ス



獨立騎兵A大佐

龍騎兵二中隊半

前衛B少佐

獵兵大隊

龍騎兵一小隊

本隊(同シク行軍序列)

龍騎兵一小隊

重歩兵第十二聯隊

野戰砲兵第十八聯隊第一大隊

歩兵第五十二聯隊

工兵中隊

師團架橋縱列

衛生枝隊

此ノ軍隊區分ニヨレハ前衛ノ兵力甚々微弱ナリ、歩兵ノ八分ノ一ノ戰況ハ彼我ノ歩兵未ダ觸接スルコトナキヲ示スカ故ニ軍隊ハ便宜ヲ主トシテ行軍シ、本隊ニ在ル各部隊ハ炎暑ノ爲メ前ニ記載シタル距離ヨリモ一層大ナル距離ヲ取リ大行李ハ本隊ノ後尾ニ密シテ行進セリ

枝隊司令官ハ上ノ行軍序列ニ從ヒ軍隊カ休憩ヲ行フ間ニ於テ命令受領者ニ次ノ命令ヲ筆記セシメタリ

「パイッ」ノ南方ニ於テ千八百、年七月十日午  
后第二時十五分



枝隊命令

- 一 敵ハ本日午前ニ諸兵種混合ノ軍隊ヲ以テ「グーベン」ヲ占領シタリ、
  - 二 枝隊ハ次ニ示スカ如ク宿營スヘシ、
- 獵兵大隊
- 獨立騎兵一中隊
- 重歩兵第十二聯隊第一大隊、「タウエル」及「プライラック」
- 獨立騎兵一中隊半
- 重歩兵第十二聯隊第二大隊
- 及聯隊本部
- 砲兵第一中隊
- 「ヤエンシユワルデ」
- 「ツルノウ」

- 重歩兵第十二聯隊銃兵大隊
- 砲兵第二及第三中隊及大
- 隊本部
- 旅團本部
- 歩兵第五十二聯隊第一大隊
- 龍騎兵半中隊及聯隊本部
- 歩兵第五十二聯隊第二大
- 隊
- 第五十二聯隊ノ第三大隊
- 第五十二聯隊ノ第四大隊
- 工兵中隊
- 「ドレノノウ」
- 「パイオツ」
- 「コットブーゼル、ホルスタット」
- 「クローブローゼル、ホルスタット」
- 「ドレノノウ、エル、ホルスタット」
- 「コール、ラツテンドル」



師團架橋輜重

衛生枝隊

「ハンメル」製造場

三 「ヤエ」ンシユワルデ及ヒ「タクエル」村ノ舍營司令官ハ強力ナル外衛兵ヲ置キ「グイベン」ノ方ニ斥候ヲ派遣シ以テ技隊ノ警戒ヲ擔任シ且ツ相互ノ連絡ヲ維持スヘシ

四 警報アルニ當テハ「ツルノウ」及ヒ「ドレノウ」ニ在ル軍隊ハ「リープローゼル、ホルスタット」ノ北方向出口ニ集合シ其他ノ軍隊ハ各々宿泊セル村落内ノ緊急集合所ニ在ルヘシ「パイッ」及ヒ其周圍ニ於テ宿營スル軍隊ノ緊急集合所ハ午後第四

時三十分ニ至ルマテニ之ヲ旅團ヨリ指示スヘシ

五 大行李ハ軍隊ニ續テ舍營ニ入り緊急集合ノ際

ハ其舍營内ニ止リ村落毎ニ集合スヘシ

六 給與ハ糧食車ヨリ之ヲ受ケ該車輛ハ各村落ニ

於テ糧食ヲ徵發シ之ヲ補充スヘシ

七 今晚第九時ニ余カ舍營ニ於テ命令ヲ受領スヘシ

枝隊司令官 X 少將

此ノ命令ニ及左ノ命令ヲ追加ス

軍隊ハ明日早朝出發ノ準備ヲ爲スヘシ

此ノ命令ニ因リテ之レヲ見レハ枝隊司令官ハ特ニ前哨



ヲ編成セシテ枝隊ノ警戒ハ之ヲ「ヤエンシユワルデ」及  
 ヒ「タウエル」村ノ兩舍營司令官ニ委子タリ蓋シ敵ヲ去ル  
 ノ距離遠大ナルト且ツ地形ニ依テ然ルナリ一他ノ村落  
 ニ在ル軍隊ハ特ニ命令ヲ受ケサルモ村落ノ出口ヲ占領  
 シ以テ各々自カラヲ警戒スヘキモノナリ一枝隊司令官  
 ハ歩騎聯隊長若クハ砲兵大隊長ニ委任スルヲナク自カ  
 ラ各歩兵大隊騎兵中隊及ヒ砲兵中隊ノ舍營區ヲ區分セ  
 リ是レ聯隊長若クハ砲兵大隊長ヲシテ更ニ命令ヲ出ス  
 ノ煩ナカラシメ且時間ヲ節センカ爲メナリ其他枝隊司  
 令官自カラ何村ニ何大隊宿泊スヘキヤヲ指示スルハ利  
 益ナルベシ如此スルハ例令ヘハ「タウエル」村ノ如キ村

落ニ在ル大隊ハ更ニ其隊號ヲ旅團ニ報告セサルヘカラ  
 サルカ如キノ不便ヲ避クルヲ得ヘシ一行軍中獨立騎兵  
 ヲ指揮シタル龍騎兵聯隊長ハ此日ニハ最早其部下聯隊  
 ヲ使用スルヲナキヲ以テ枝隊本部ニ赴ム可シ若シ聯  
 隊長「タウエル」ニ駐在スルヲアラフ歟其益ナカルベシ寧  
 ロ當日中ノ事件ヲ自ラ來リテ枝隊司令官ニ口演スルハ  
 枝隊司令官モ亦タ企望スル所ナルベシ一夫レ晩ニ至ル  
 マテニハ如何ニ戰況ノ變更スルヤ豫メ測ル能ハサル場  
 合ニ在テハ直ニ翌日ニ關スル命令ヲ與フル能ハサルハ  
 理ノ最モ賂易キモノナリ乃チ晩ニ至リ更ニ命令ヲ與ヘ  
 サルヘカラス但シ該司令官ハ明朝ハ必ラス運動セサル



可ラサルヲ考エ且ツ炎暑ノ爲メ早朝出發セサル可ラ  
 サルヲ慮ルキハ早ク出發スルノ準備ヲ爲ス可キ追加  
 ノ命令ヲ與ヘタルハ適當ナリ命令ハ之ヲ附與スル  
 遲緩スルモ軍隊ノ爲メニハ甚シキ害ナシ是レ運動中ハ  
 別ニ命ナキモ軍隊ハ翌朝早ク出發スルノ準備ヲ爲シテ  
 休憩ニ就クモノナレハナリ只其指揮官及ヒ職員ハ休憩  
 スルヲ能ハス其官等高キニ從ヒ益休憩ノ度ヲ減ス可シ  
 蓋シ作戰中ハ小單位ノ軍隊ニ在テハ夜間始メテ命令ヲ  
 受領スルヲ多シ何トナレハ晩ニ至リ始メテ軍ノ司令部  
 ニ報告ヲ呈出シ司令部ハ此報告ニ據テ決定シタル命令  
 ヲ更ニ部下單位ニ下スモノナレハナリ但シ副官ハ命令

受領ノ爲メ長時間ヲ要スルヲ屢之アリ而シテ其受領シタ  
 ル命令ヲ速ニ軍隊指揮官ニ傳達セントスルモ尙數多ノ  
 時間ヲ要スルヲアルモノトス此間兵卒ハ睡眠シ起床號  
 音或ハ非常號音ニ依テ休憩ヲ止メ運動ニ就クヲ得由是  
 觀之指揮官及職員ノ戰時ニ於テ精神ヲ勞シ体力ヲ費ス  
 一實ニ無窮ニシテ決シテ兵卒ノ比ニ非サルナリ軍隊指  
 揮官ハ實ニ晝間ハ其部下ニ勞力ヲ命シ部下休憩ニ就ク  
 時ハ自ラ困難ナル精神上ノ作業ニ從事セサル可ラス而  
 シ如此キ作業ノ結果ハ戰史ヲ成形スルニ於テ至要ナル  
 材料トナルモノナリ  
 前ニ記載シタル命令ヲ與フルヤ直チニ軍隊ハ各々其舍



營ニ進入ス、又獨立騎兵司令官ヨリ派遣セル報告騎兵ハ  
此命令ヲ謄寫シテ之ヲ「タウアル」ノ地ニ携行ス、

枝隊司令官ハ料ラサル敵ノ「グーベン」占領ニ就キ之ヲ高  
等司令部ニ報告スヘキハ勿論ノ事ニシテ尙不決斷ノ汚  
辱ヲ避ケンカ爲メ此報告ト全時ニ翌日ノ計畫ヲ報告ス  
ルヲ良トス、此場合ニ際シ枝隊司令官ハ高等司令部ニ向  
テ其動作法ヲ稟議スルカ如キハ是レ策ノ得タルモノニ  
アラス、何トナレハ高等司令部ハ狀況ノ變遷ヲ知り更ニ  
命令ヲ下サント欲セハ枝隊司令官ヨリ特別ノ請求ナキ  
モ之レカ處分ヲ爲スモノナレハナリ例令ヘハ若シ枝隊  
司令官カ高等司令部ニ向テ稟請シタル動作ノ返答トシ

テ高等司令部ヨリ再ヒ以前ノ任務ヲ授ケラル、カ如キ  
事アリトセハ枝隊司令官ノ面目ヲ汚ス、鮮少ニ非ラサ  
ル可シ故ニ枝隊司令官ハ報告ヲ作ル前既ニ翌日動作セ  
ントスル方法ヲ自ラ決定スル、必要ナリ  
住民ノ陳述ニヨレハ「グーベン」ニ進入シタル敵ノ兵力ハ  
歩兵數大隊、騎兵若干及ヒ砲數門ニ過キサリナリ若シ高  
等司令部ニ於テ上ノ如ク狀況變更シタルモ尙「グーベン」  
ヲ占領スルヲ以テ必要ナリトセハ枝隊ハ七月十一日ノ  
戦闘ニ於テ之ヲ「グーベン」ヨリ擊退スル、難キニ非サル  
ナリ或ハ敵兵「グーベン」ノ外尙ホ其東方ニ在ル村落ヲ占  
領シタルヤ或ハ彼レ既ニ優勢ノ兵力ヲ以テ「グーベン」ニ



到着セシカ未タ明確ナラスト雖モ其小哨ヲ「グロース」ニ  
 接シテ直ニ其西方ニ配置シタル情况ヲ審究スル時ハ自  
 カラ敵ノ目的ハ專守防戦ヲ行フニ在ルヤ明カナリ何ト  
 ナレハ敵兵若シ七月十一日ニ「ナイセイ」河ヲ越エ其左岸  
 ニ前進セント欲スル時ハ其本隊ヲシテ「ナイセイ」河ヲ越  
 ヘテ施行スル展開ヲ安全ナラシメンカ爲メ前衛ヲシテ  
 「ナイセイ」河ノ西方ニ發遣セシメサル可ラス其之レヲ爲  
 サル所以ノモノハ敵兵前進ノ企圖ヲ爲サ、ルノ徵候  
 ナリ故ニ「グロース」及ヒ其東方ニ優勢ナル敵兵アリト雖  
 モ枝隊ハ敢テ敗北ニ陥ルノ危険ヲ冒サスシテ「グロース」  
 ヲ攻撃シ得ヘシ譬ハ敵ノ兵力優勢ナルモ徒ニ優柔不斷

恐怖逡巡スルニ足ラサル可シ即チ現時ノ戦況ニ於テハ  
 枝隊ハ嘗テ受ケタル任務ノ實施ヲ中止スルカ如キ「ア  
 ル」可ラス枝隊ハ高等司令部ヨリ他ノ命令ヲ受ケサル限  
 ハ七月十一日ニ「グロース」ヲ攻撃シ之ヲ占領セ「ア」ヲ試ミ  
 サルヘカラス枝隊ハ尙敵ノ状況ヲ明カニセンカ爲メ騎  
 乘ニ巧妙ナル將校斥候ヲ派遣シ「グロース」ノ外尙「ナイセ  
 」河ノ右岸ニ在ル村落ハ敵之ヲ占領セサルヤ否ヤヲ確  
 ムル「ア」必要ナリ故ニ「ヤエ」ニ在ル騎兵中隊  
 ハ既ニ一斥候ヲ「グロース」ノ方ニ派遣シタレモ其背后ニ  
 於ケル動靜ヲ知ル「ア」能ハサルモハ尙ホ一斥候ヲ出シテ  
 「グロース」ガ「スロース」ニ於テ「ナイセイ」河ヲ越ヘシメ之ヲ



遠ク其後方ニ發遣セサル可ラス此ノ斥候ノ齎シ來ル報  
告ハ仮令ヘ翌朝ニ至リテ到達スルモ支障ナカル可シ何  
トナレハ既ニ曩キニ示シタル如ク「ナイセー」河ノ背後ニ  
停止スル敵ハ優勢ナルモ枝隊ノ爲ニハ大ナル危険ヲ呈  
セサレハナリ報告ハ寧ロ高等司令部ノ爲メ敵ノ兵力ニ  
關シ細密ニ之ヲ知ルヲ必要トスルモノナリ、  
枝隊司令官ハ上ノ判決ニ基キ次ノ如キ電報ヲ發シ又命  
令ヲ作ルモノトス、

「パイツ」ニ於テ千八百、  
三時十五分、  
年七月十日午後第

第三軍團司令部宛

遁逃シタル住民ノ陳述ニヨレハ敵ハ本日歩兵數大  
隊、騎兵若干及ヒ砲數門ヲ以テ「グロベン」ヲ占領セリ  
ト、余ノ騎兵斥候ハ「グロベン」ノ停車場及橋梁附近ニ  
於テ敵ノ歩兵小哨ノ爲メニ擊退セラレタリ、  
余ハ明日「グロベン」ヲ攻撃ス、

又少將

「パイツ」ニ於テ千八百、  
三時二十分、  
年七月十日午後第

「ギエンシユワルデ」ニ於ケル舍營司令官宛、  
敵ハ「グロベン」ノ外尙ホ該市街ノ附近「ナイセー」河右  
岸ノ村落ヲ占領シタルヤ否ヤヲ知ルニ極メテ緊要



ナリ貴官ハ此ノ目的ヲ遂クル爲メ一將校斥候ヲ「ナ  
イセー」河ヲ越ヘテ派遣スヘシ(但シ「グロース、ガスト  
ローゼ」ヲ經テ)

余ハ明朝第五時迄ニ報告ヲ受クンハ足レリ

又少將

此ノ斥候(馬匹ニ秣フダル后)午后第五時ニ出發スルモノ  
ト假定スル時ハ薄暮ニ至ル頃ニハ其任務ヲ盡シ得ヘシ、  
然ルルハ此ノ斥候ハ自ラ安全ナルニ至ルマテノ距離ニ  
退却シテ宿泊シ翌朝速ニ報告ノ爲メ返還セサル可ラス  
枝隊司令官ハ地圖ニ就テ翌日「グロース」ニ前進スヘキ方  
法ヲ研究シ決定シ得可キ者ハ次ノ如シ即チ本縱隊ヲ以

テ「タウエル」及ヒ「ペーレン」クテウヲ經テ右側枝隊ヲ以テ  
「ヤエ」シユワルデ「グライ」ゴ「及ヒ」アツテルワシユヲ經  
テ前進セシムルコト是ナリ其他細密ナル處置ハ之ヲ爾後  
ニ讓ラサル可ラス

第六問題 (第五問題ノ續キ)

七月十日晩ニ於ケル戰況

隊司令官ハ晩第八時ニ次ノ報告ヲ受ケリ

「タウエル」ニ於テ千八百、年七月十日晩第七時  
三十分、

步兵第十旅團長宛

第二報告



コグロ  
スアラ  
ヘン  
フエン  
ノ  
北  
方  
ニ  
突  
ニ  
タ  
リ  
米  
東  
十  
東  
北  
方  
ニ  
突  
ニ  
タ  
リ

強力ナル敵ノ輕騎兵斥候ハ余カ龍騎兵斥候ヲ「タウ  
エル」マテ却ケシモ我カ歩兵射撃ヲ以テ之ヲ撃退シ  
タリ余ハ搜索ノ爲メ龍騎兵半中隊ヲ「ベイン」ニクラ  
ウ「及ヒ」アツテルワシエ「ノ」方ニ派遣シタリ、外衛兵ノ  
射撃ニ重傷ヲ負フタル敵ノ一騎兵（輕騎兵第三聯隊）  
ノ陳述ニヨルハ午后第二時其騎兵中隊ハ「グロース」  
ブラツセン「ヨリ」グ「イ」ベン「ヲ」經テ「セン」ケ「ン」デ「イ」ベル  
ン「ノ」方ニ前進シ又行進中ナル歩兵ハ晚遠ク「シ」エン  
ケン「デ」イ「ベル」ニ到着シ、歩兵旅團ノ本部ハ晚ニ「グ」イ  
ベン「ニ」到着スヘク師團本部第六師團ハ「ク」ロツセン  
ニ停止スルナラント

第十二聯隊第一大隊長舍營司令官C少佐  
晚第八時十五分ニ高等司令部ヨリ次ノ電報到着ス  
「ド」レ「イ」プ「カ」ウ「ニ」於テ千八百、  
、年七月十日晚

第七時四十五分、  
歩兵第十旅團長宛、

貴官ノ報告ニ依レハ「グ」イ「ベン」ニ在ル敵ノ兵力ハ微  
弱ナルモノ、如シ、貴官ハ明日「グ」イ「ベン」ヲ攻撃セヨ  
本軍ハ明日「ハ」イ「チ」ルス「ブ」リツク「ト」「バ」イ「ツ」ニ互ル線  
内ニ前進ス可シ又高等司令部ハ明日正午ヨリ「ハ」イ  
チ「ルス」ブ「リ」ツク「ニ」移轉ス

X 歩兵將官



枝隊司令官ハ七月十一日ニ關スル作戰命令ノ附與ハ前哨ヨリ送致スヘキ諸種ノ報告到着スルヲ俟テ而ノ後之ヲ爲サントス然ルニ晚九時三十分ニ至リ枝隊司令官ハ「ヤエンシユワルデ」ヨリ次ノ如キ報告ヲ得タリ

「ヤエンシユワルデ」ニ於テ千八百、、年七月十日

日晚九時

步兵第十旅團長宛

第三報告

余ノ龍騎兵斥候ハ晚七時后ニ敵ノ步兵「ドイローウイツ」及ヒ「カルテシボルン」ヲ占領シタルヲ發見シタリ又大約一小隊ノ兵力ヲ有スル步兵枝隊ハ「グービ

ンハン」ノ橋梁ニ在リ

獵兵大隊長舍營司令官B少佐

終リニ晚九時四十五分ニ尙ホ次ノ報告到着ス

「タウエル」ニ於テ千八百、、年七月十日晚第九

時十五分

步兵第十旅團長宛

第三報告

前方ニ派遣シタル龍騎兵半中隊ハ敵ノ步兵「センケンデールン」及ヒ「ドイローウイツ」ヲ占領シタルヲ確メタリ

第十二聯隊第一大隊長舍營司令官C少佐



問題

枝隊司令官ノ虞置及ヒ命令

説明及ヒ答解

我兵ノ爲メ重傷ヲ負ヒ「タウエル」ニ於テ逮捕セラレタル敵ノ輕騎兵ハ行進中ナル敵ノ歩兵ハ晩ニ「センケンデーベルン」ニ進入スルナラント告ケ又「タウエル」ヨリ晩ニ派遣シタル騎兵ハ晝間敵ノ占領セサル「センケンデーベルン」ハ晩ニ至リ彼レ之ヲ占領シタルヲ發見シタリ即チ逮捕者ノ陳述正當ナルヲ知ル是ヲ以テ推測スルキハ此ノ逮捕者ノ他ノ陳述モ亦タ虚偽ナラサルヲ信ス可シ何トナレハ重傷ヲ負ヒタル者ノ如キハ故意ニ虚偽ノ陳述ヲ

爲シ得ヘキモノニ非ラス若シ其陳述ニシテ誤謬アルカ彼レ自カラ己ノ軍隊ノ處置如何ヲ知ラサルニ坐スルノミ因是觀之敵ノ前隊ハ晩ニ於テ前進シ「グーベン」ニハ更ニ援兵ヲ得タルヲ明ナリ此ノ推定及ヒ逮捕者ノ陳述ニヨツテ考フレハ「グーベン」ニ在ル敵ハ歩兵凡一旅團ナルヲ推算スルヲ得而シ敵ノ遠ク其前隊ヲ前進セシメタルハ則チ其目的攻戰ニアルヲ知ル可シ唯疑ラクハ敵兵此攻戰ヲ行フハ七月十一日ニ在ル乎或ハ彼レ其援兵ノ「クロツセン」ヨリ進出スルヲ待タントスル乎ニ在リ即チ七月十一日午前敵ハ「グーベン」ニ於テ防戦スルカ或ハ前進スルモノト判定シ得ヘ